ADWAYS

FY2026 PRESENTATION MATERIAL

NOVEMBER 2, 2026

3Q

東京証券取引所スタンダード市場：2489

株式会社アドウェイズ

2026年12月期 第３四半期 決算説明会

2026年11月2日 代表取締役社長 山田 翔

ADWAYS IR CHANNEL

目次

1. 第3四半期の業績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.05
2. 株主還元 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.24
3. 事業概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.28
4. 補足資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.69

chapter

本資料における記載方法について

・2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。

・取扱高は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。

・売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率（親会社株主に帰属する四半期純利益率）、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

・事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

中国子会社の株式譲渡に関する本資料における記載方法について

2025年12月16日及び2026年4月30日に公表のとおり、当社の連結子会社であった「愛徳威広告(上海)有限公司」及び「ADWAYS ASIA HOLDINGS LIMITED」（以下、当該子会社）の全株式を「売れるネット広告社グループ株式会社」に譲渡し、2026年12月期第2四半期から当該子会社は、連結の範囲から除外されております。

そのため、 2026年12月期第3四半期実績は、前年同四半期との比較において、株式譲渡に伴う連結除外の影響を受けております。

この影響を踏まえ、本資料の7ページ、9ページ、41ページでは、前年同四半期と同様の条件で比較できるよう、過去の数値から当該子会社の実績を除いた参考値をあわせて掲載しております。（7ページ、9ページ、41ページの2025年12月期第3四半期の実績は、当該子会社の実績を簡易的に除外して作成した参考値です。なお、事業ごとの実績を完全に切り分けることができないため、譲渡対象外の事業の一部についても除外しております。）

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

第3四半期の業績

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2026年12月期第3四半期	前年同四半期から当四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期			前四半期比 2026年12月期第2四半期		
		推移	実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	11,555		12,404	▲848	▲6.8%	12,674	▲1,118	▲8.8%
売上高	2,997		2,964	+33	+1.1%	3,042	▲45	▲1.5%
売上総利益	2,516		2,445	+71	+2.9%	2,563	▲46	▲1.8%
販管費	2,120		2,417	▲296	▲12.3%	2,143	▲22	▲1.0%
営業利益	395		28	+367	—	419	▲24	▲5.7%
経常利益	475		102	+372	+362.8%	547	▲71	▲13.1%
親会社株主に帰属する四半期純損益	▲379		174	▲554	—	673	▲1,053	—

取扱高
前年同四半期比 **8億48百万円の減少**（6.8%減）
前四半期比 **11億18百万円の減少**（8.8%減）

営業利益
前年同四半期比 **3億67百万円の増加**（—）
前四半期比 **24百万円の減少**（5.7%減）

※ 2026年12月期第3四半期の営業利益の対前年同四半期比は、増減率が1,000%以上のため記載しておりません。
※ 2026年12月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純損益がマイナスのため、増減率は記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

【株式譲渡を行った連結子会社を除いた数値との比較】

単位：百万円

	2026年12月期第3四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期 【株式譲渡を行った連結子会社を除いた参考値】			前四半期比 2026年12月期第2四半期		
		参考値	増減額	増減率	参考値	増減額	増減率
取扱高	11,555	11,553	+2	+0.0%	2026年12月期第2四半期から連結から除外されたため、前四半期比較は前ページ（6ページ）から変更なし。		
売上高	2,997	2,795	+201	+7.2%			
売上総利益	2,516	2,277	+239	+10.5%			
販管費	2,120	2,220	▲99	▲4.5%			
営業損益	395	56	+339	+600.1%			
経常損益	475	134	+341	+254.5%			
親会社株主に帰属する四半期純損益	▲379	205	▲585	―			

株式譲渡を行った子会社分を除くと、取扱高、売上高、売上総利益の増減額及び増減率は好転。

※ 2026年12月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純損益がマイナスのため、増減率は記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当第3四半期累計の業績と前年同期比較

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期累計	前年同期比 2025年12月期第3四半期累計		
		実績	増減額	増減率
取扱高	38,317	38,285	+31	+0.1%
売上高	9,322	8,870	+451	+5.1%
売上総利益	7,872	7,287	+584	+8.0%
販管費	6,520	7,282	▲762	▲10.5%
営業利益	1,352	5	+1,347	―
経常利益	1,623	225	+1,398	+619.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	694	97	+596	+612.1%

取扱高　前年同期比　**31百万円の増加（0.1%増）**

営業利益　前年同期比　**13億47百万円の増加**

※ 2026年12月期第3四半期累計期間の営業利益の対前年同期比は、増減率が1,000%以上のため記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当第3四半期累計の業績と前年同期比較

【株式譲渡を行った連結子会社を除いた数値との比較】

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期累計	前年同期比 2025年12月期第3四半期累計 【株式譲渡を行った連結子会社を除いた参考値】		
		参考値	増減額	増減率
取扱高	38,317	35,862	+2,454	+6.8%
売上高	9,322	8,380	+941	+11.2%
売上総利益	7,872	6,797	+1,074	+15.8%
販管費	6,520	6,745	▲225	▲3.3%
営業利益	1,352	52	+1,299	―
経常利益	1,623	274	+1,349	+490.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	694	166	+528	+318.2%

株式譲渡を行った子会社分を除くと、取扱高、売上高、売上総利益の増減額及び増減率は好転。

※ 2025年12月期第3四半期累計との比較における営業損益の増減率は1,000％を超えるため、記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

2026年12月期業績予想修正の要因

単位：百万円

対象会社	事業内容	減損対象	減損損失額
株式会社アドウェイズ・エナジー	系統用蓄電池事業	系統用蓄電池に関する機械、装置、土地	456
株式会社VECT INNOVATION	AIマーケティング事業	マーケティングに関するソフトウェア	182
株式会社オールドルーキー	サウナ事業	サウナ店舗に関する機械、装置	83
その他			37
【合計】			759

足元の事業環境や事業計画の進捗状況等を踏まえ、回収可能性を検討した結果、
有形固定資産及び無形固定資産等について、減損損失を特別損失に計上。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

2026年12月期業績予想の修正

単位：百万円

	取扱高 （参考値）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	50,000	11,800	1,500	1,750	1,500
2026年11月2日 修正予想	50,000	11,800	1,500	1,750	900
増減額	-	-	-	-	▲600
増減率	-	-	-	-	▲40.0%

減損損失759百万円を特別損失として計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が
前回発表予想値を下回る見込みとなったため、業績予想を下方修正。

※「前回発表予想」とは2026年8月12日付け「2026年12月期第2四半期(中間期)決算短信」で発表した数値。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

2026年12月期業績予想と実績

単位：百万円

	取扱高 （参考値）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	50,000	11,800	1,500	1,750	1,500
2026年11月2日 修正予想	50,000	11,800	1,500	1,750	900
当第3四半期 累計実績	38,317	9,322	1,352	1,623	694
2026年11月2日 修正予想 に対する進捗率	76.6%	79.0%	90.2%	92.8%	77.2%

取扱高、売上高、営業利益、経常利益については、業績予想に対して順調に推移。
親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の計上に伴い通期予想を下方修正した結果、修正予想に対する進捗率は77.2%。

※「前回発表予想」とは2026年8月12日付け「2026年12月期第2四半期(中間期)決算短信」で発表した数値。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

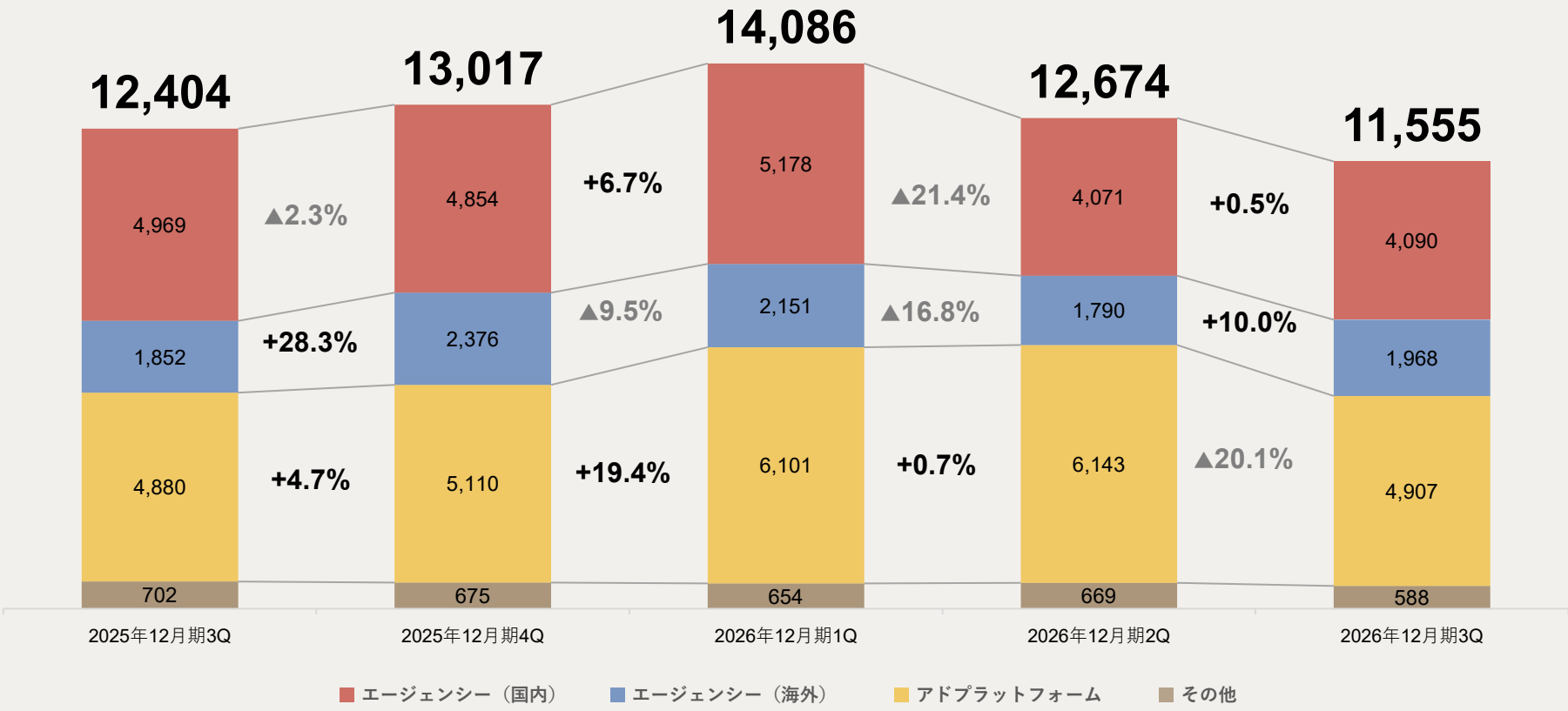
当四半期のセグメントサマリー

エージェンシー事業 （国内）	**セグメント取扱高：40億90百万円** **前年同四半期比：8億78百万円減少（17.7%減）** 一部のゲームアプリや通販アプリなどの広告が減少。 マンガアプリでは、大型案件でのシェア拡大により伸長。
エージェンシー事業 （海外）	**セグメント取扱高：19億68百万円** **前年同四半期比：1億16百万円増加（6.3%増）** 中国で広告事業を行う子会社を売却したことにより減少。 海外のゲームクライアントのプロモーションが大幅に増加。
アドプラットフォーム 事業	**セグメント取扱高：49億7百万円** **前年同四半期比：27百万円増加（0.6%増）** UNICORNは、「ブランド」「マンガ」のジャンルが伸長。 アフィリエイト広告は、第2四半期まで好調であった金融クライアントが不調。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

取扱高の四半期推移

単位：百万円

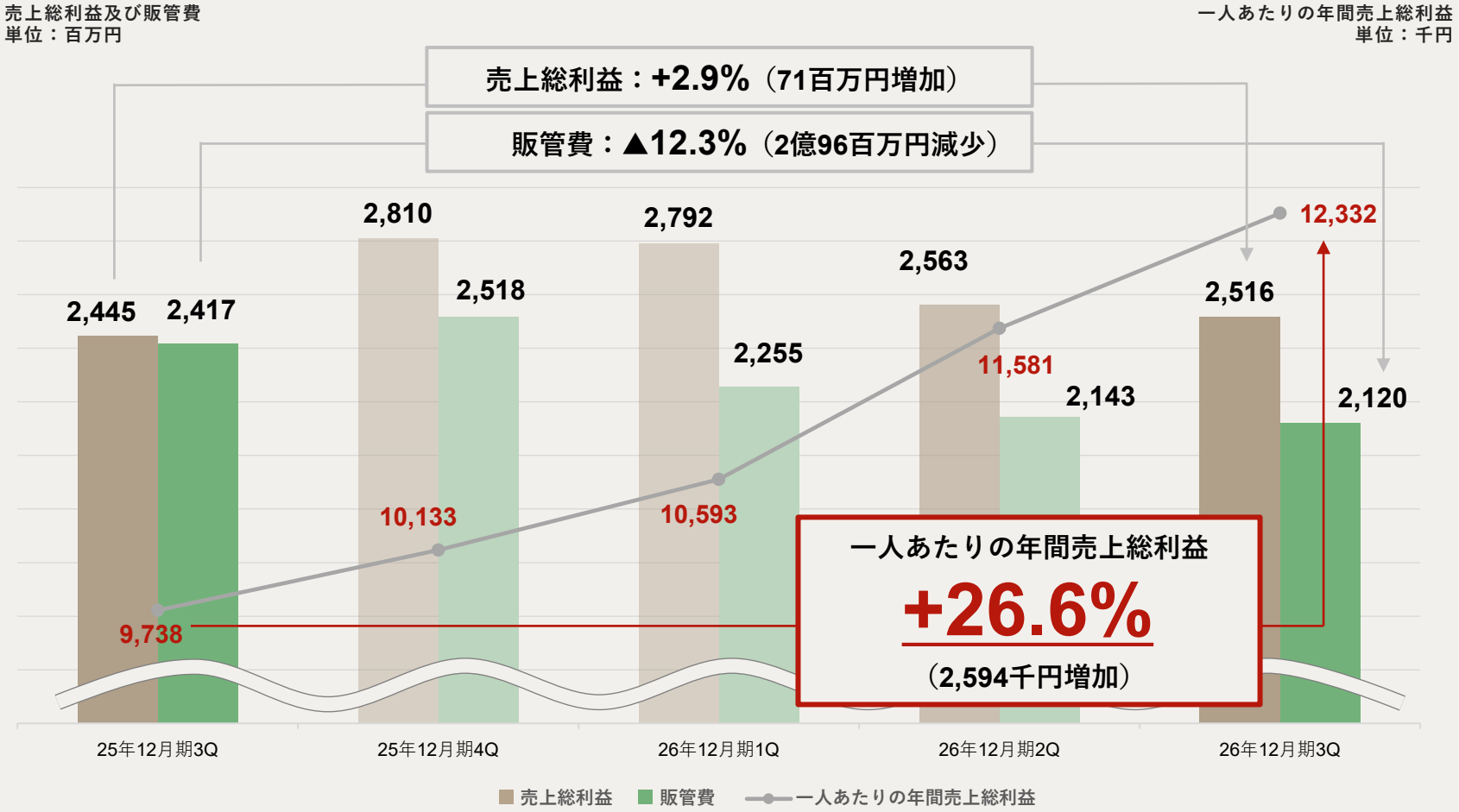


当四半期取扱高 115億55百万円

前年同四半期比：8億48百万円減（6.8%減）　　前四半期比 ：11億18百万円減（8.8%減）

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

売上総利益及び販管費の推移



AI活用等による業務効率化を推進し、各事業における売上総利益の向上と大幅な生産性向上を実現。
生産性の指標である「一人あたりの年間売上総利益」は、前年同四半期から**26.6％の増加**。

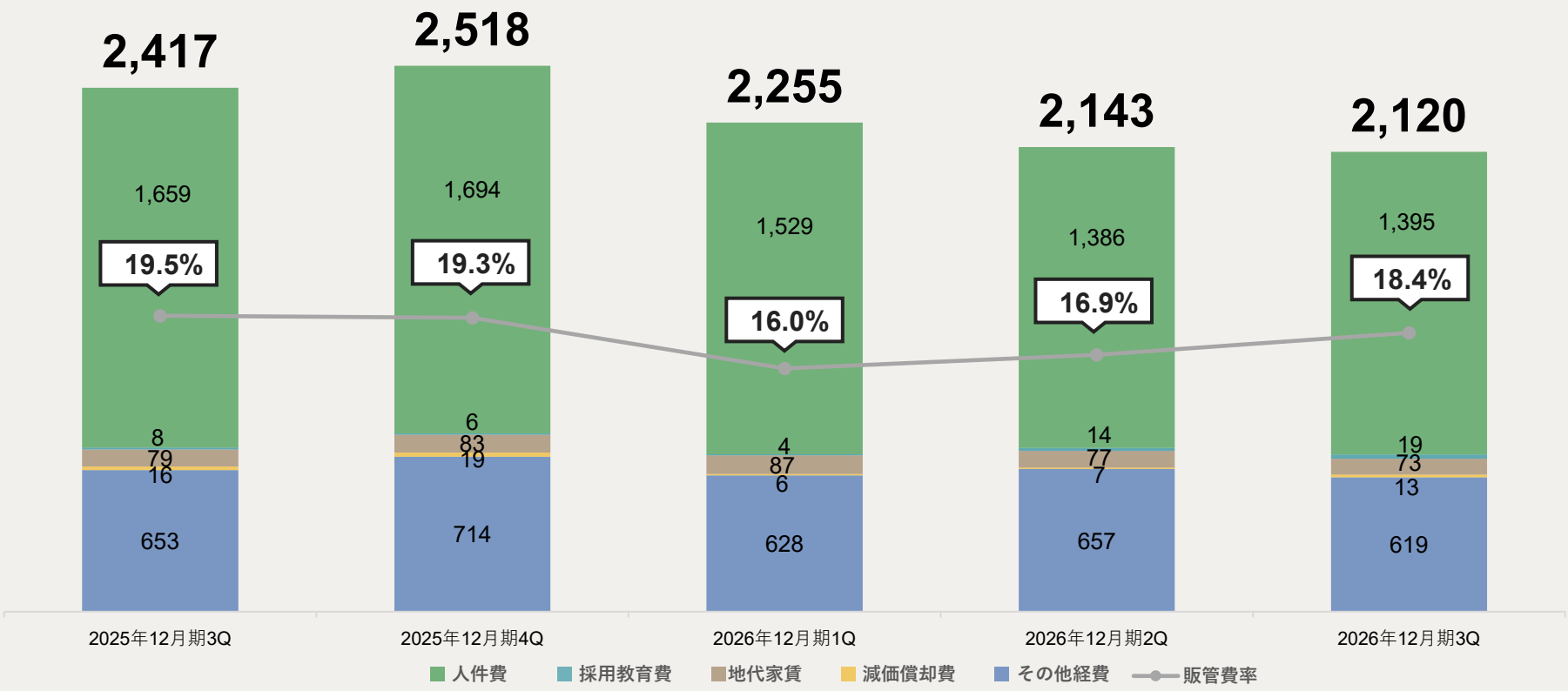
※ 一人あたりの年間売上総利益 ＝ 当該四半期から過去1年間の売上総利益額 ÷ 当該四半期から過去1年間の平均従業員数

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

販管費の四半期推移

新卒及び中途社員の採用計画の適正化を実施し、販管費を抑制。

単位：百万円



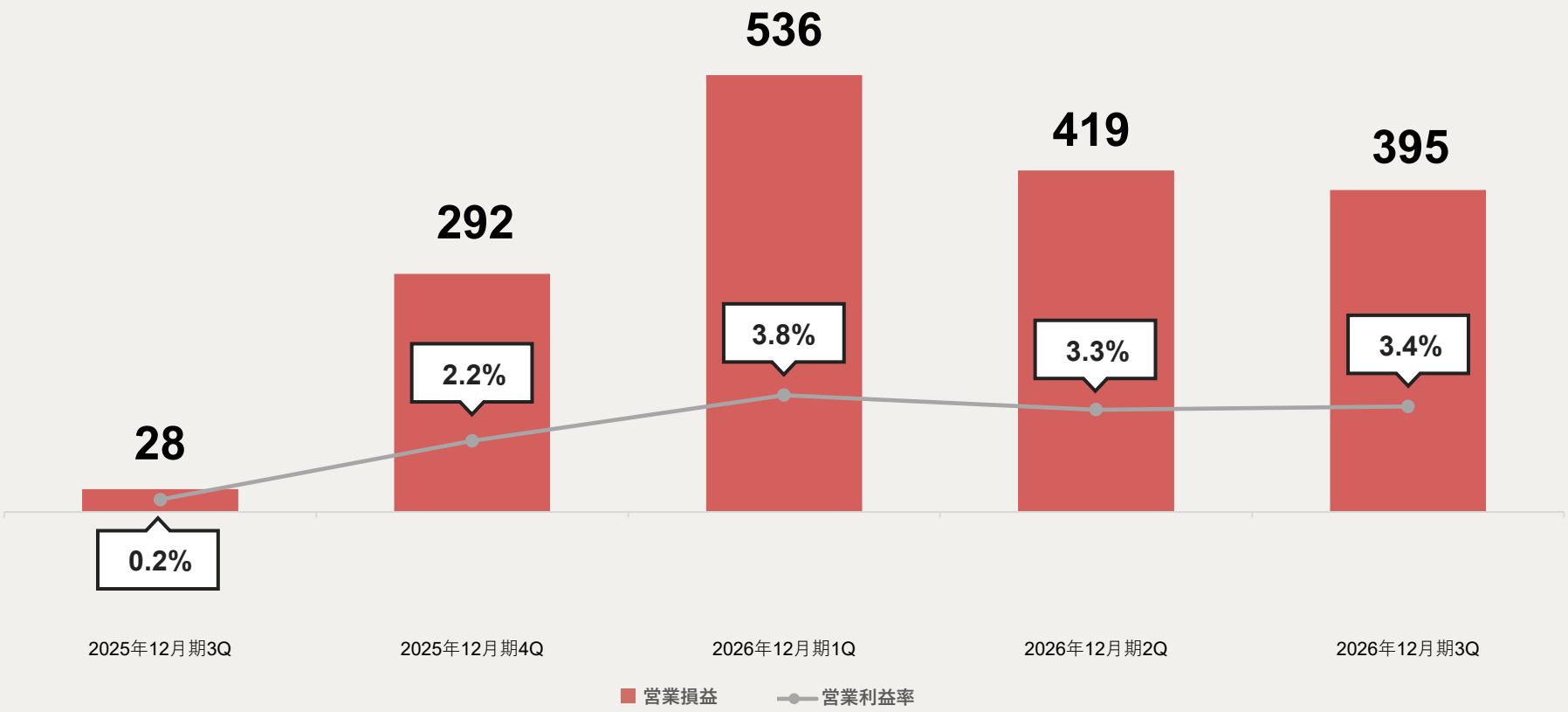
当四半期販管費 21億20百万円

前年同四半期比 ：2億96百万円減（12.3%減）　　販管費率 ：18.4%（前年同期比1.1ポイント減）

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

営業利益の四半期推移

単位：百万円



当四半期営業利益　3億95百万円

前年同四半期比 ：3億67百万円増

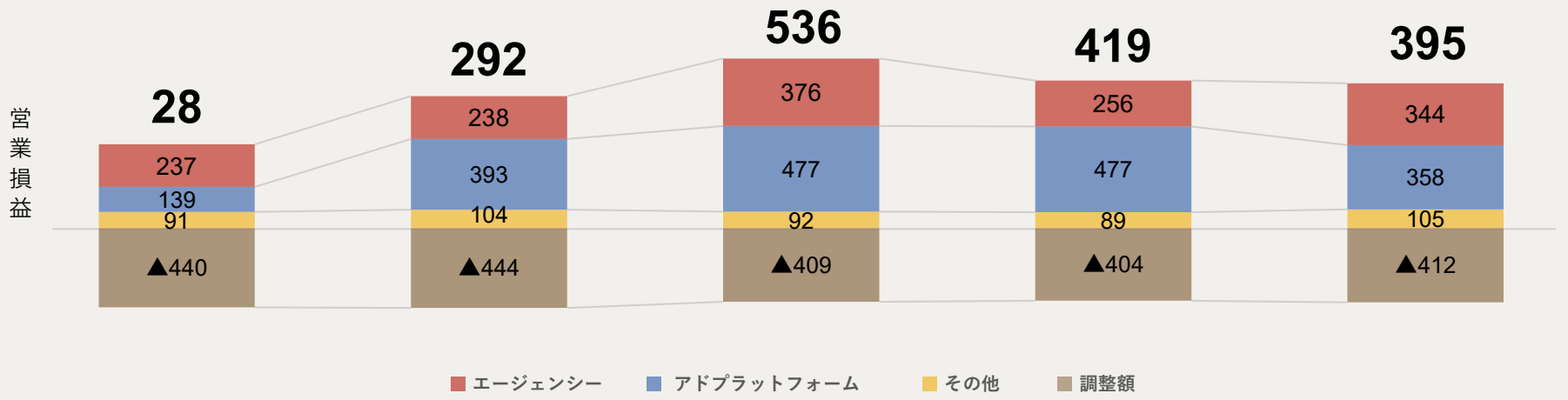
営業利益率 ：3.4%（前年同期比3.2ポイント増）

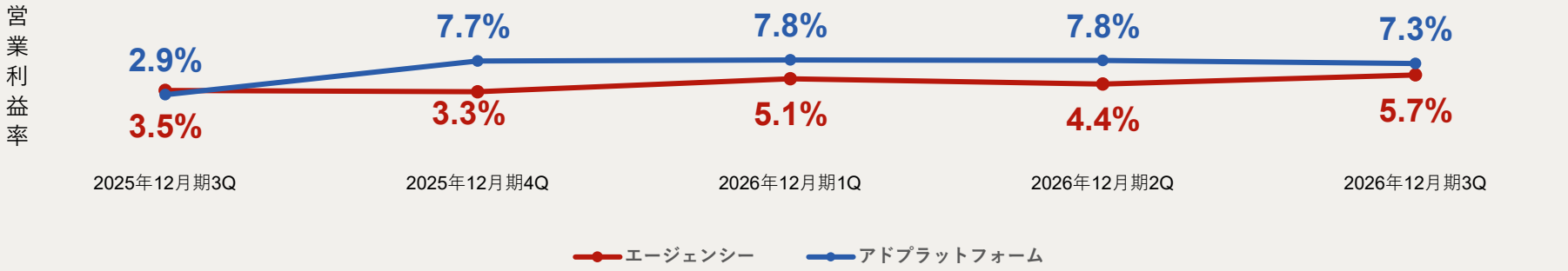
※ 2026年12月期第3四半期の営業利益の対前年同四半期比は、増減率が1,000％以上のため記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

営業利益の四半期推移（セグメント別）

単位：百万円





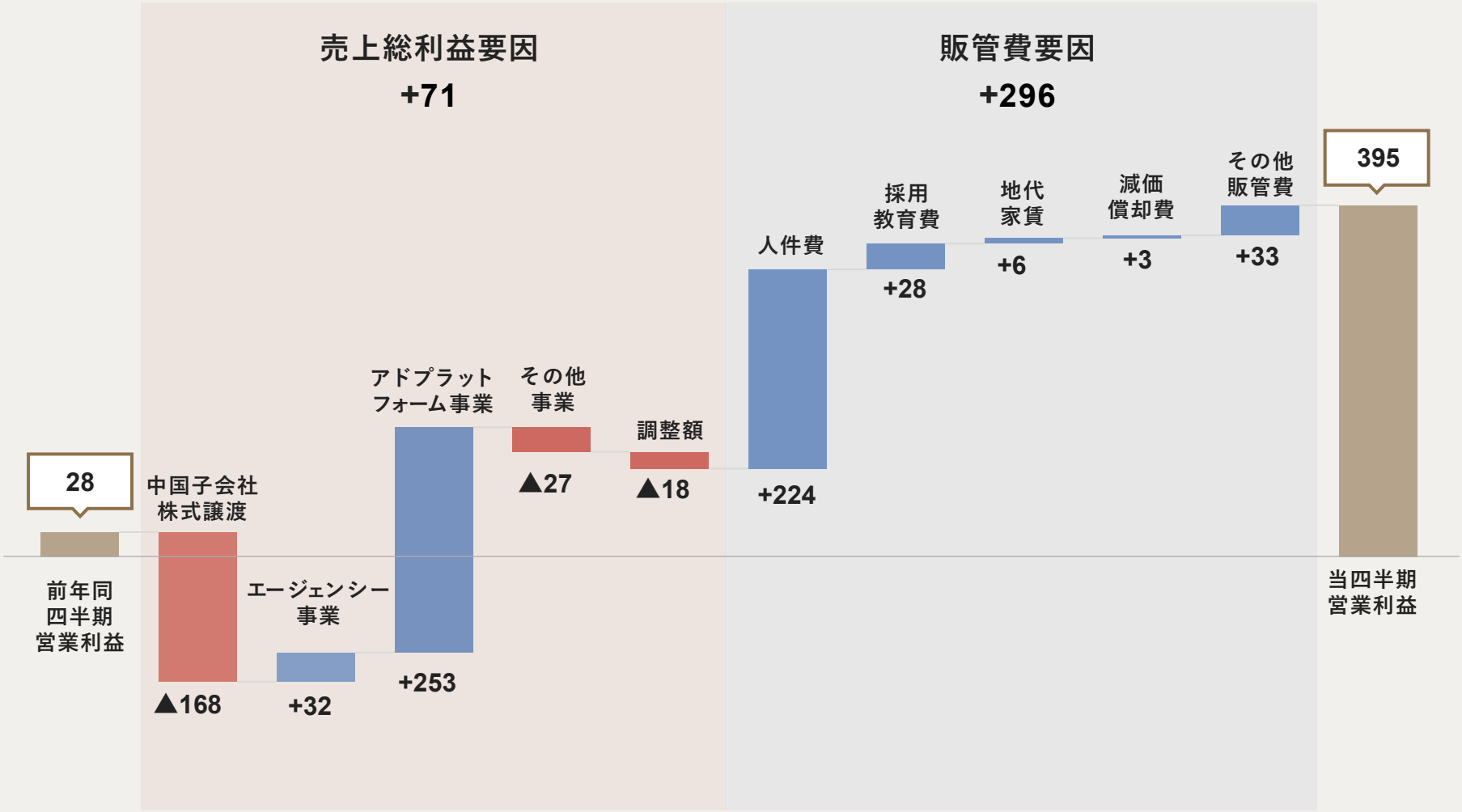
エージェンシー　：前年同四半期比で、取扱高は減少したものの、販管費の抑制により営業利益、営業利益率ともに向上。

アドプラットフォーム　：前年同四半期比で、取扱高の増加により営業利益、営業利益率ともに向上。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

営業利益の増減要因

単位：百万円

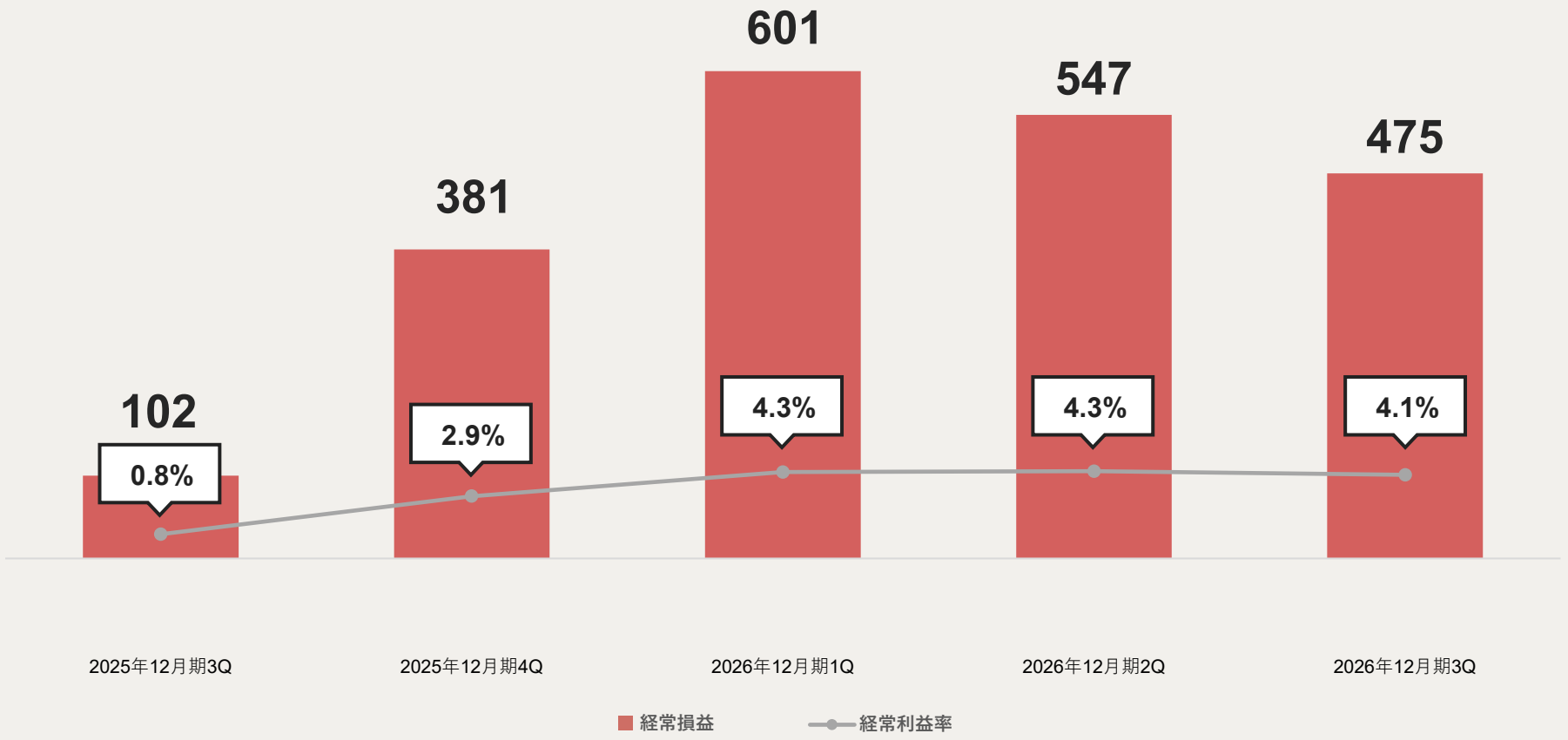


※ 増減は利益に対する増減を記載しております（販管費の減少は利益に対して増加「+」としております）。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

経常利益の四半期推移

単位：百万円



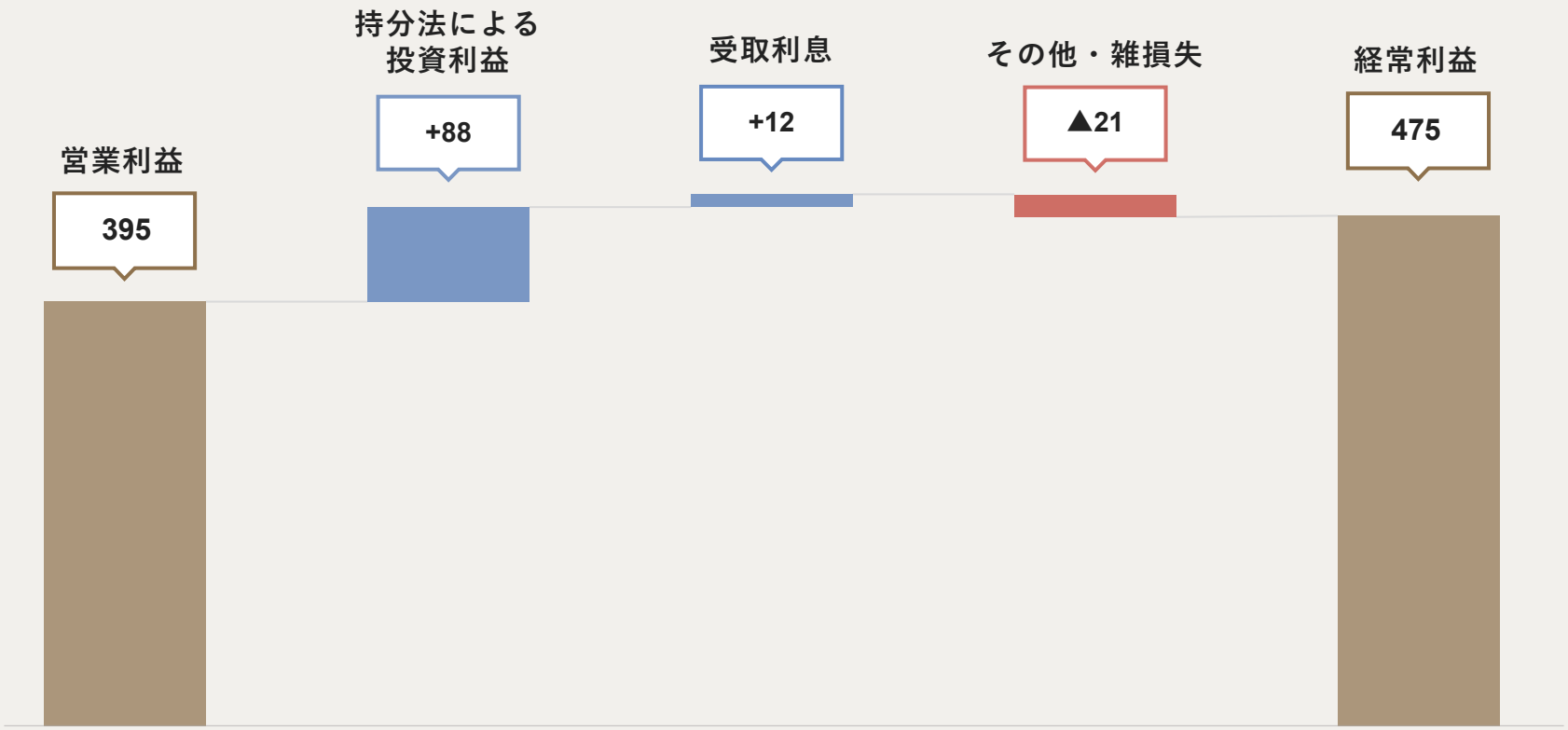
当四半期経常利益　4億75百万円

前年同四半期比：3億72百万円増（362.8%増）　　経常利益率：4.1%（前年同期比3.2ポイント増）

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

四半期経常利益の推移

単位：百万円



持分法による投資利益　・・・　+88百万円

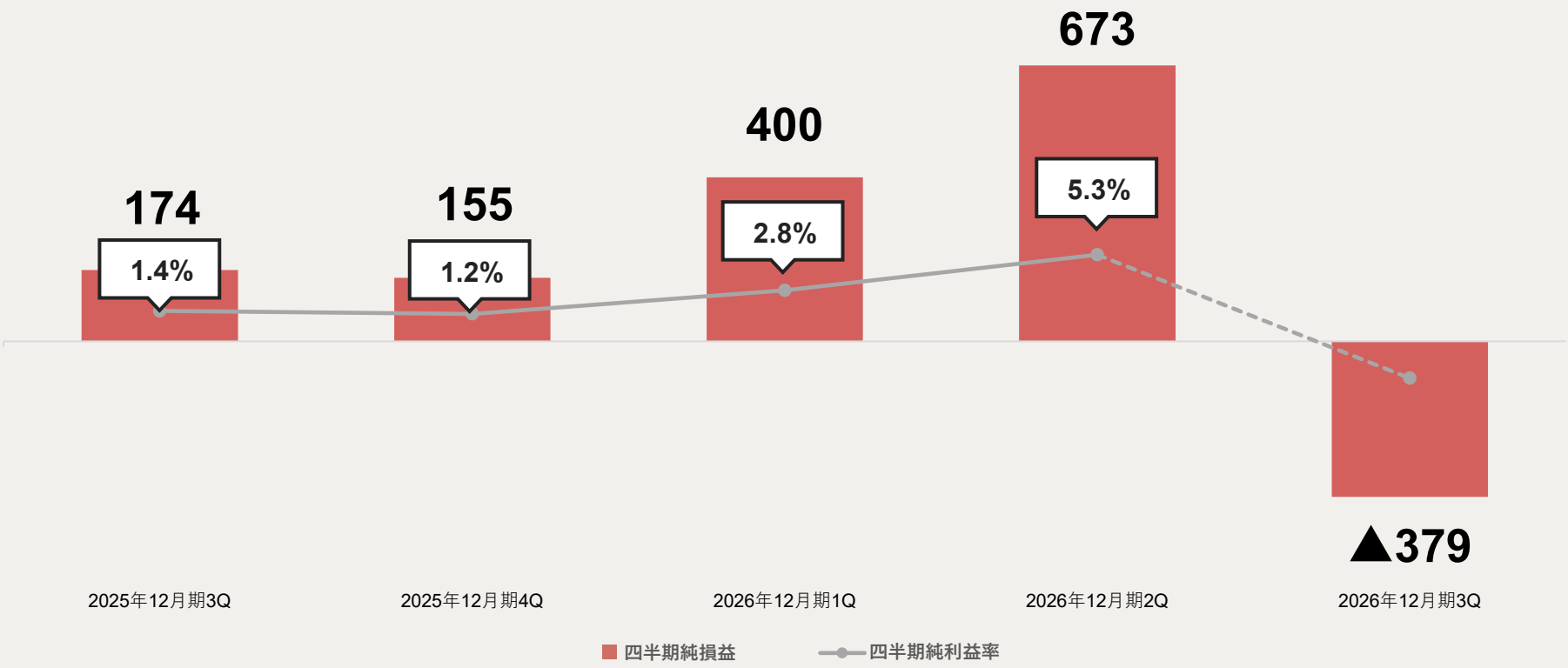
受取利息　・・・　+12百万円

その他・雑損失　・・・　▲21百万円

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

親会社株主に帰属する四半期純損益の四半期推移

単位：百万円



親会社株主に帰属する

四半期純損益　▲3億79百万円

前年同四半期比 ：5億54百万円減

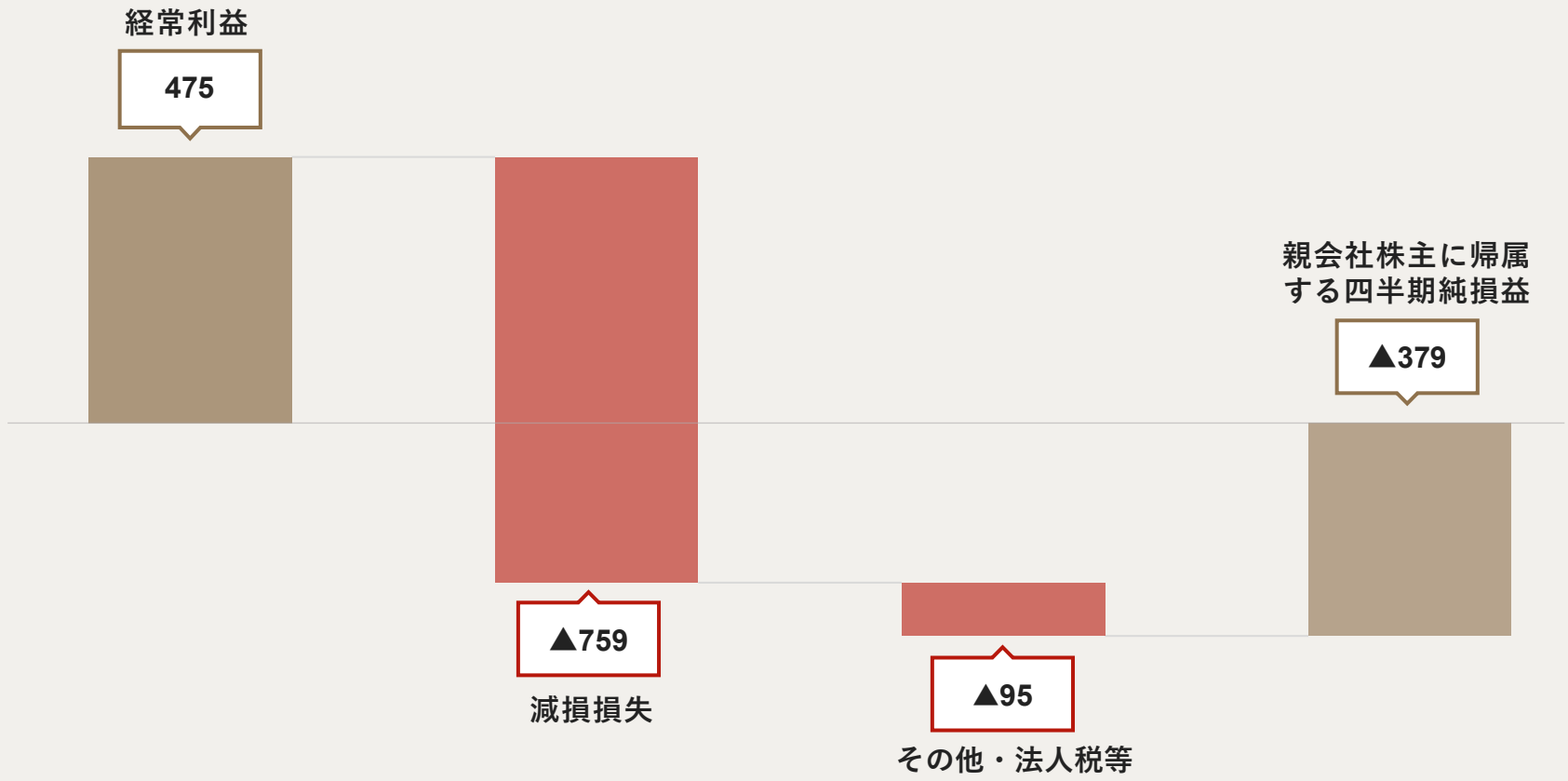
前四半期比　：10億53百万円減

※ 2026年12月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純損益がマイナスのため、純利益率は記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

親会社株主に帰属する四半期純損益の推移

単位：百万円



減損損失　・・・・・・・・▲759百万円

その他・法人税等　・・・▲95百万円

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

株主還元

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

PBR・ROEについて

2026年12月期
第3四半期
（2026年9月30日時点）

PBR（株価純資産倍率）	1.21 倍
ROE（自己資本利益率）	5.05 %

当社グループでは、市場からの評価（PBR）および資本効率（ROE）の双方の向上を重要な経営課題として受け止めております。引き続き、これらの指標の向上を目指してまいります。

東京証券取引所が上場企業に求める最低基準の目安

PBR（株価純資産倍率）	1.00 倍
ROE（自己資本利益率）	8.00 %

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

2026年12月期配当予想

業績予想の修正に伴い、配当予想を修正。

2026年12月期 配当予想　1株当たり11円75銭

【配当利回り：2.76%】

【配当方針】DOE（株主資本配当率）2%以上を目安

通常配当　1株当たり　6円75銭

＋

【記念配当】上場20周年を記念して

記念配当　1株当たり　5円00銭

2027年12月期までの3ヶ年（2025年12月期 ～ 2027年12月期）の配当方針

第26期	第27期	第28期
2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期
DOE（株主資本配当率）2%以上を目安	DOE（株主資本配当率）2%以上を目安	DOE（株主資本配当率）2%以上を目安

本配当方針につきましては、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって変更する可能性があることをご留意ください。

※ 配当利回りは、2026年9月30日の終値（425円）を基準として算定しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

株主優待

当社株式への投資の魅力を高め、
より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的とし、株主優待を実施。

保有株式数	ご優待内容		
1,000株～1,999株	オールドルーキーサウナ回数券 4枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	10,320円相当	優待利回り2.43％ 総合利回り5.19％
2,000株～2,999株	オールドルーキーサウナ回数券 8枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	20,640円相当	
3,000株～3,999株	オールドルーキーサウナ回数券 12枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	30,960円相当	
4,000株～4,999株	オールドルーキーサウナ回数券 16枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	41,280円相当	
5,000株～5,999株	オールドルーキーサウナ回数券 20枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	51,600円相当	
6,000株～6,999株	オールドルーキーサウナ回数券 24枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	61,920円相当	
7,000株～7,999株	オールドルーキーサウナ回数券 28枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	72,240円相当	
8,000株～8,999株	オールドルーキーサウナ回数券 32枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	82,560円相当	
9,000株～9,999株	オールドルーキーサウナ回数券 36枚（4店舗 最長1年間のご利用が可能）	92,880円相当	
10,000株～19,999株	オールドルーキーサウナ6ヶ月VIP会員（4店舗 最長6ヶ月間のご利用が可能）	198,000円相当	優待利回り4.66％ 総合利回り7.42％
20,000株～29,999株	オールドルーキーサウナ1年VIP会員（4店舗 最長1年間のご利用が可能） ＋ オールドルーキーサウナホテル特別室ご宿泊（1泊）	726,000円相当	優待利回り8.54％ 総合利回り11.31％
30,000株以上	オールドルーキーサウナ1年VIP会員（4店舗 最長1年間のご利用が可能） ＋ オールドルーキーサウナホテル特別室ご宿泊（3泊）	1,386,000円相当	優待利回り10.87％ 総合利回り13.64％

株主優待の有効期間　：基準日（毎年12月末日）の翌年4月1日から翌々年3月末日

進呈時期　：毎年3月にご案内を送付

※ 詳細は、2026年8月12日に公表した「株主優待制度の変更及び拡充に関するお知らせ」をご覧ください。
※ 2026年12月末日時点の株主名簿に記録された株主様より、上記変更及び拡充後の優待制度を適用いたします。ご利用開始時期は2027年4月1日からとなります。
※ 優待利回りは、各種最低出資額に対し2026年9月30日の終値（425円）を基準として算定しており、総合利回りは、配当利回り（2.76％）と優待利回りとの合計の利回りとなります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

事業概況

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

事業概況における数値の記載方法について

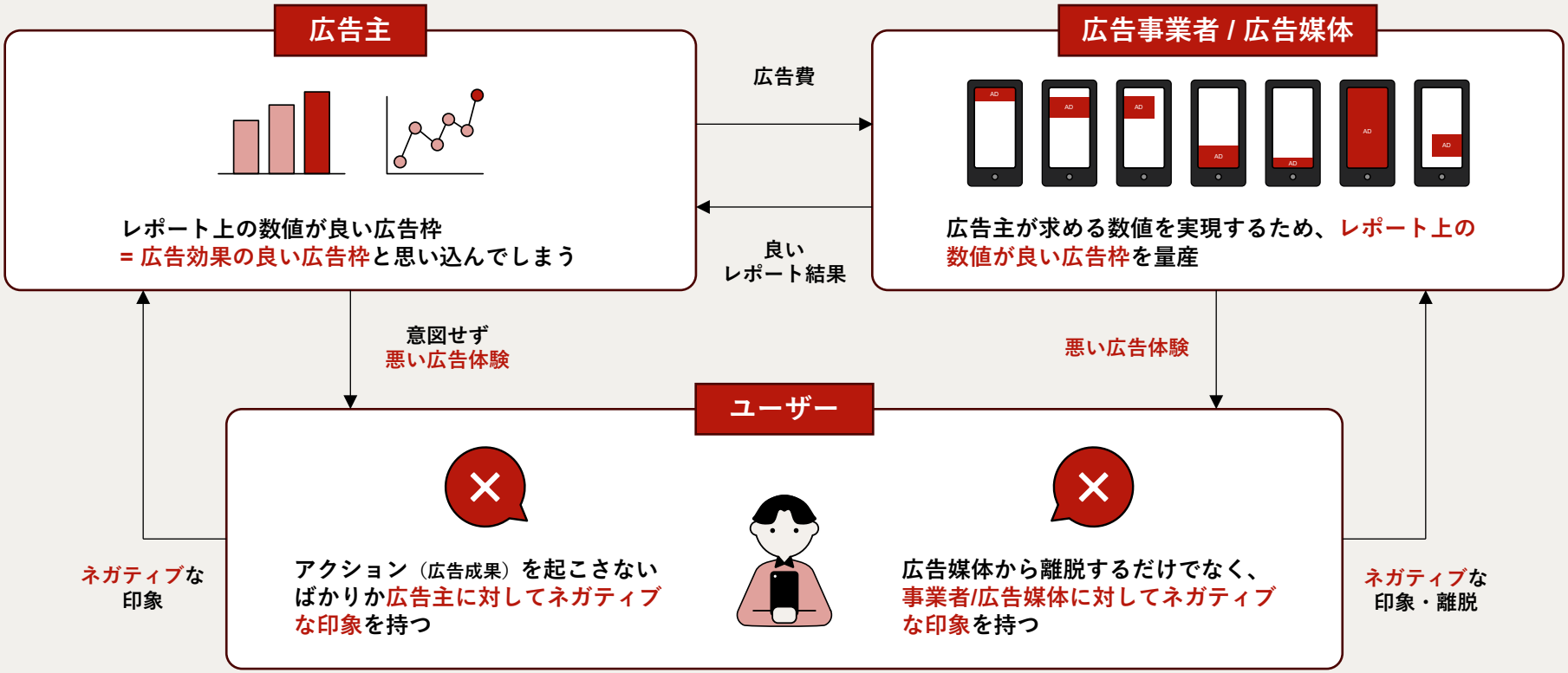
　事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

　そのため、第3四半期の業績で記載している数値と、事業概況で記載している数値は異なっておりますのでご留意ください。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当社におけるデジタル広告市場の捉え方

インターネット広告の現状 – なぜユーザーに届かない広告が生まれてしまうのか



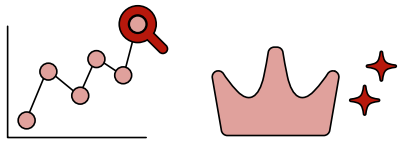
昨今、ユーザーに不信感を与えるような誇張された広告表現や不適切な広告枠に広告費が消費されてしまうケースが少なからず存在し、ユーザーの体験の悪化や広告主のブランド価値の毀損に繋がり、広告は見られなくなるばかりかネガティブな印象を持たれ、デジタル広告市場の不健全なエコシステムが生まれる結果に。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当社におけるデジタル広告市場の捉え方

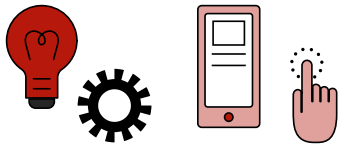
「デジタル広告の本来あるべき姿」の実現へ

広告主



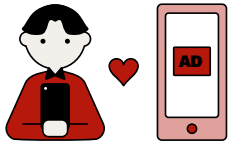
本質的な広告指標の導入、ブランド価値の向上

広告事業者 / 広告媒体



デジタル広告のあるべき姿の追求、良質な広告体験の提供

ユーザー



価値ある情報との出会いや良質な広告体験

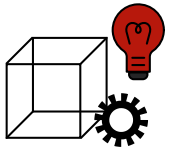
本来広告とは普段の生活では目にすることがなかった情報に偶然出会える喜び、いわば“セレンディピティ”を得ることのできる、貴重な存在のはず。アドウェイズグループでは、「広告の本来あるべき姿」を追求し、広告主・広告媒体・ユーザーのすべてが豊かになる健全なエコシステムの構築を目指しております。目先の利益ではなく「本質的な課題は何か」を常に問い続け、すべてのステークホルダーに対し、新しい価値を提供し続けてまいります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

市場が抱える課題に対する当社の取り組み

「デジタル広告の本来あるべき姿」の実現に向けた具体的な取り組み

デジタル広告体験を通した ブランド価値の向上



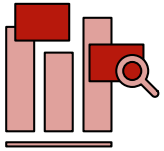
- 独自の媒体セーフリスト／配信ブロックリスト
- アドベリフィケーションツールの活用

不適切な配信先の 徹底的排除



- アドフラウドが疑われるサイトへの出稿制限
- 独自の不正検出アルゴリズム

本質的な広告評価の追求



- 広告との出会いによるユーザーのポジティブなアクションを正しく評価できる評価方法の追求

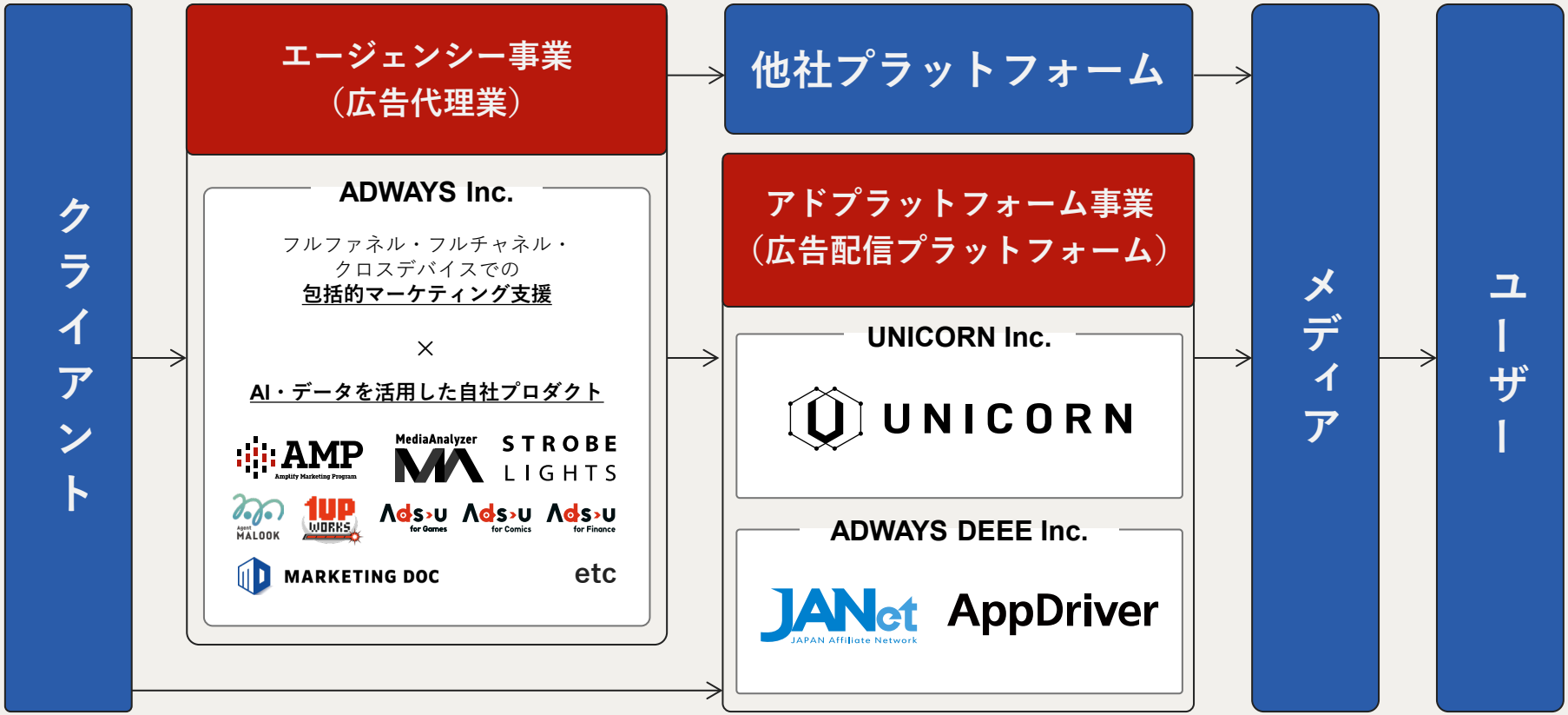
「デジタル広告の本来あるべき姿」の実現へ

当社におけるデジタル広告市場の捉え方や「デジタル広告の本来あるべき姿」の実現に向けた取り組みの詳細につきましては、2026年12月期 第1四半期決算説明会資料をご確認ください。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

広告事業の概況

アドウェイズグループにおける広告事業の分類

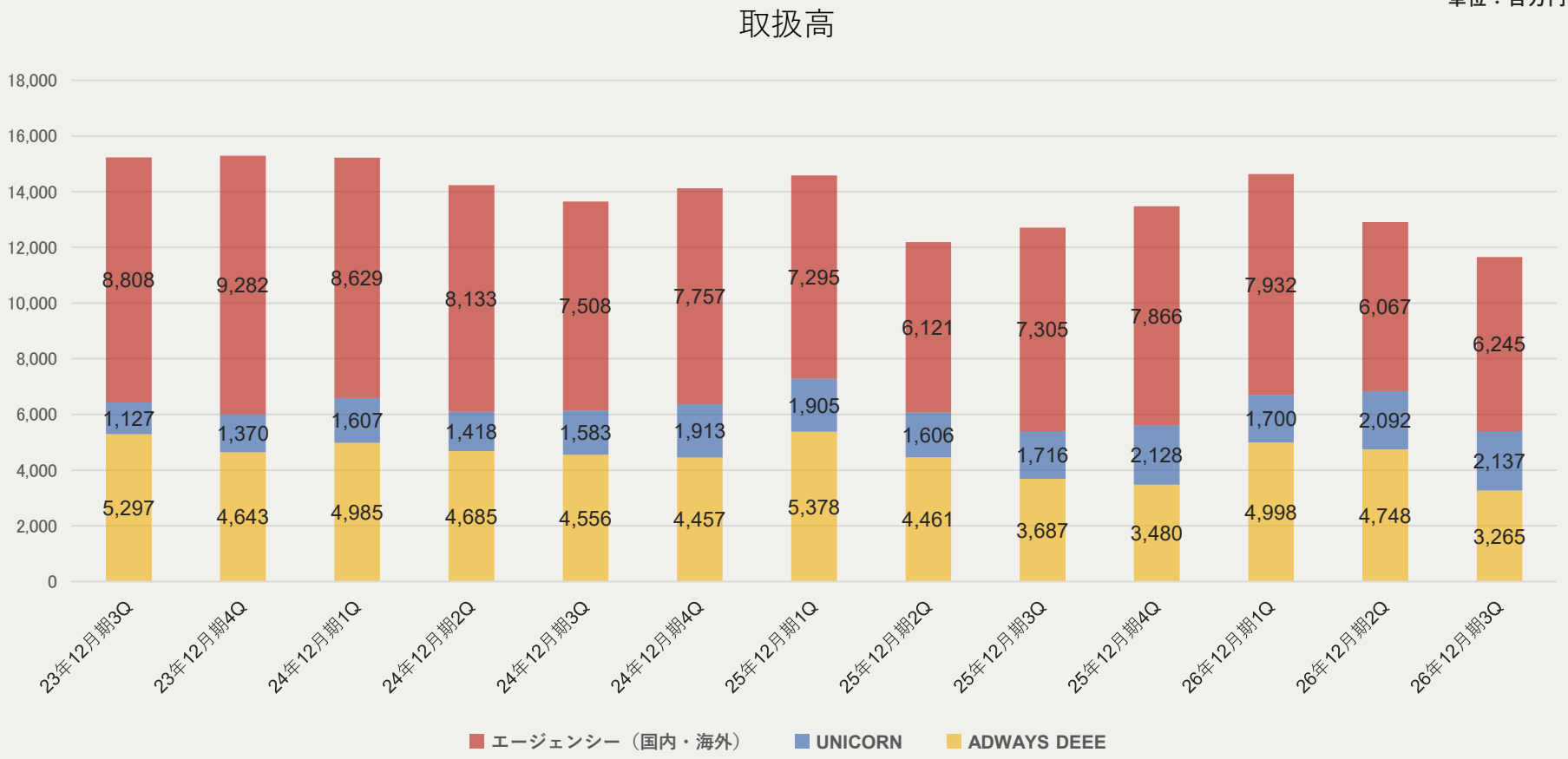


広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、
自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

広告事業における取扱高推移

単位：百万円



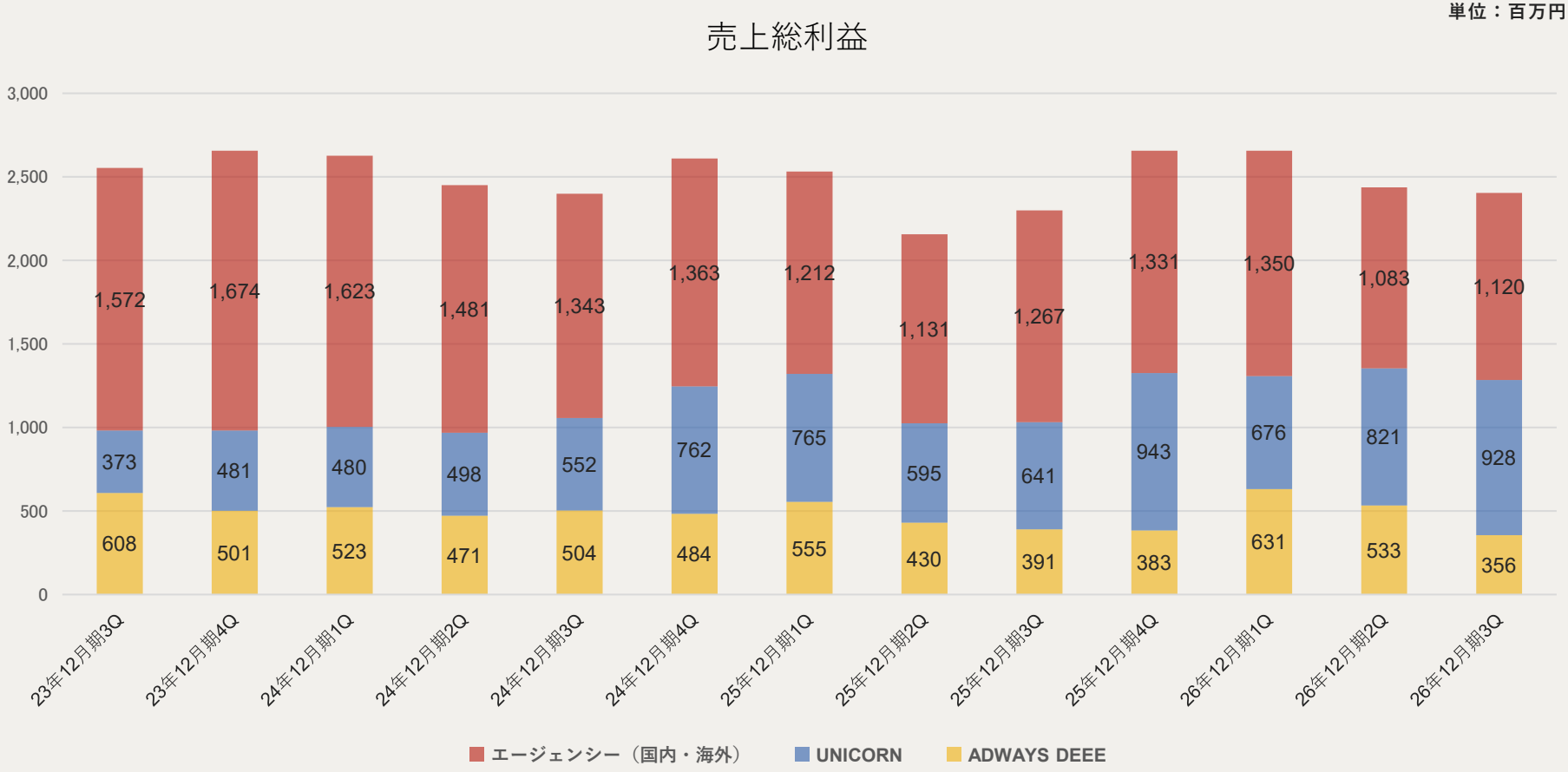
エージェンシー（国内・海外）は中国で広告事業を行う子会社の株式を譲渡した影響で2026年12月期2Q以降は減少。UNICORNは前年同四半期、前四半期共に増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

広告事業における売上総利益推移

単位：百万円



エージェンシー（国内・海外）は中国で広告事業を行う子会社の株式を譲渡した影響で2026年12月期2Q以降は減少。ADWAYS DEEEは前年同四半期、前四半期共に減少。

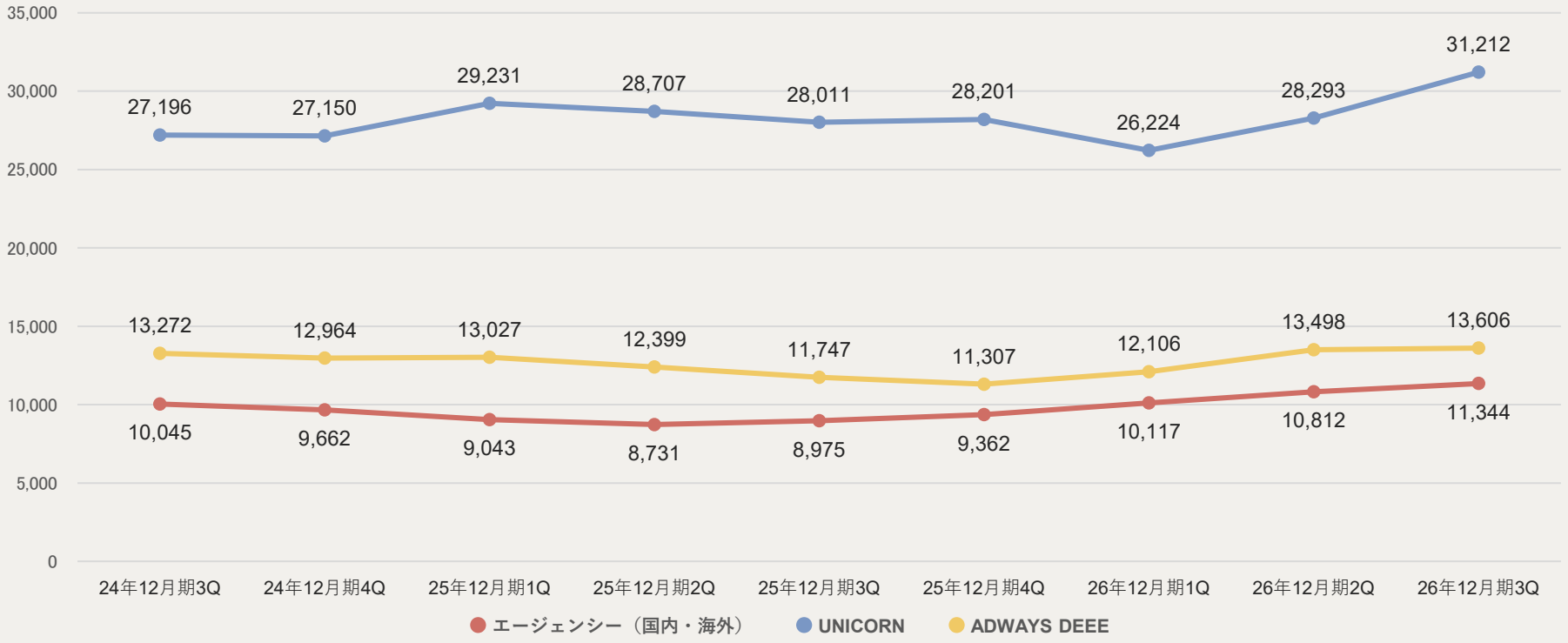
※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。
※ UNICORNでは、AI運用型アドトラック「O3 TRUCK」に関する数値の反映方法を変更したため、2025年12月期以前の資料と金額が一部異なります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

広告事業における
一人あたりの年間売上総利益推移

単位：千円

（一人あたりの年間売上総利益 ＝ 当該四半期から過去1年間の売上総利益額 ÷ 当該四半期から過去1年間の平均従業員数）



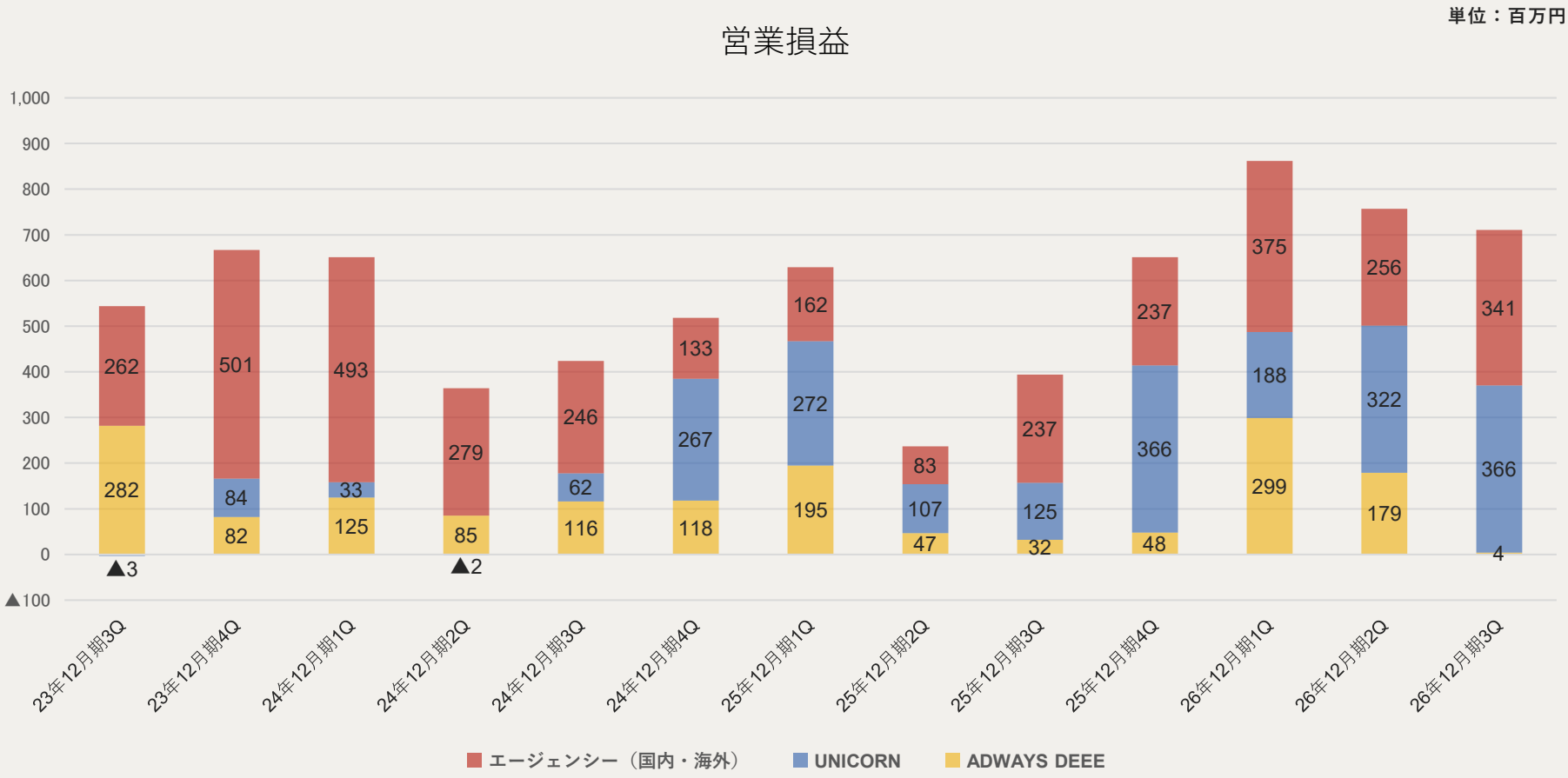
中長期的な生産性向上の指標として「一人あたりの年間売上総利益」の推移を記載。
生産性の向上により、主要3事業ともに前年同四半期と比較して増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

広告事業における営業損益推移

単位：百万円



エージェンシー事業は、営業損失であった連結子会社の株式譲渡及び生産性の向上により、UNICORNは売上総利益の向上によって、それぞれ増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

エージェンシー事業(国内・海外)

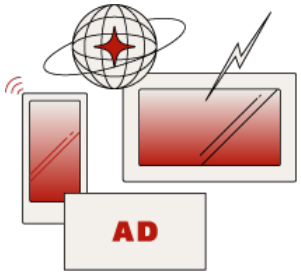
アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

エージェンシー事業(国内)事業方針

広告本来の価値と向き合い、顧客の事業成長を支援

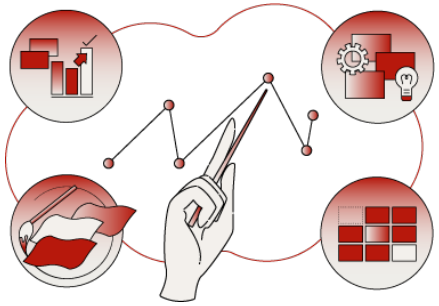
エンターテインメント領域への
マーケティング支援強化



パートナー企業との
連携強化



AI・データを活用した
広告効果最大化プロダクト



エージェンシー事業では、豊富な実績・ナレッジ、環境分析から事業課題を特定したマーケティング戦略立案、フルチャネル※1・フルファネル※2・クロスデバイスでマーケティングプランを設計。クライアントへの包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。目下の事業方針として、エンターテインメント領域へのマーケティング支援の強化、博報堂ＤＹグループをはじめとするパートナー企業との連携強化に加え、広告効果最大化を実現すべくAI・データを活用したプロダクトやソリューション構築に最注力しております。広告効果最大化プロダクト・ソリューションの創出により、本来あるべき「本質的な広告価値」を生み出すことで、今後もクライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援してまいります。

※1 フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事。
※2 フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Agency business

エージェンシー事業(国内・海外)

前年同四半期比較

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	6,245	7,305	▲1,059	▲14.5%
売上総利益	1,120	1,267	▲146	▲11.6%
営業利益	341	237	+104	+44.1%

中国で広告事業を行う子会社の株式を譲渡したことにより、取扱高、売上総利益は減少したものの、国内ではマンガアプリの広告が伸長。販管費の抑制もあり営業利益は増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Agency business

エージェンシー事業(国内・海外)

株式譲渡を行った連結子会社を除いた数値との比較 - 前年同四半期比較

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期 【株式譲渡を行った連結子会社を除いた参考値】		
		参考値	増減額	増減率
取扱高	6,245	6,454	▲208	▲3.2%
売上総利益	1,120	1,099	+21	+2.0%
営業利益	341	265	+76	+28.7%

株式譲渡を行った子会社分を除くと、売上総利益、営業利益が前年同四半期から増加。

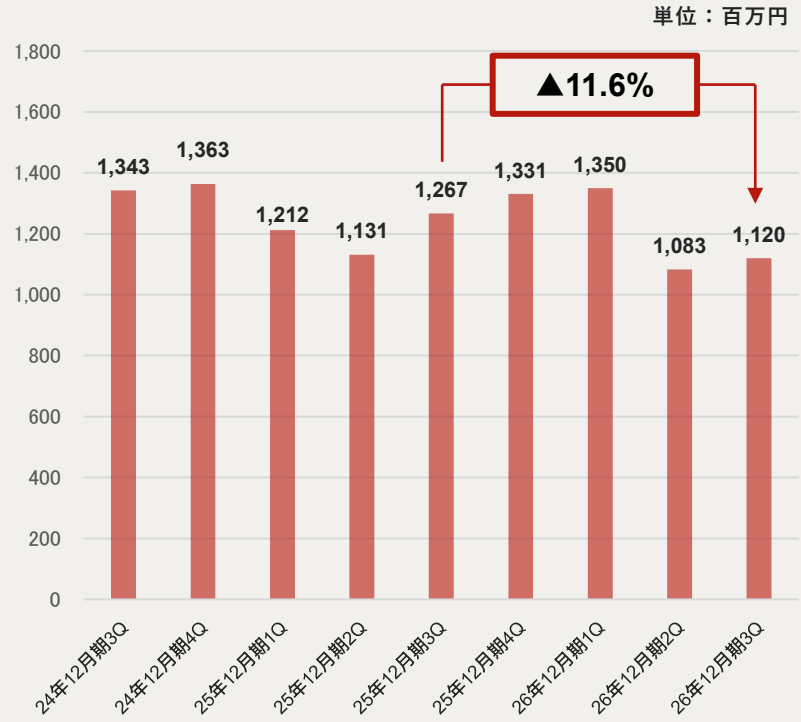
※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

エージェンシー事業(国内・海外)

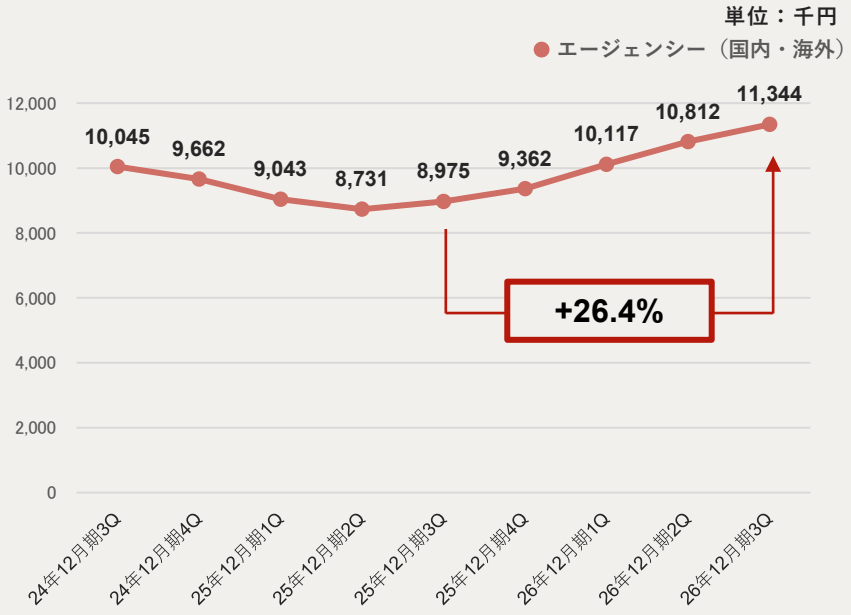
事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

売上総利益推移



一人あたりの年間売上総利益推移

一人あたりの年間売上総利益
＝ 当該四半期から過去1年間の売上総利益額 ÷ 当該四半期から過去1年間の平均従業員数



生産性の向上により、一人あたりの年間売上総利益は大きく向上。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

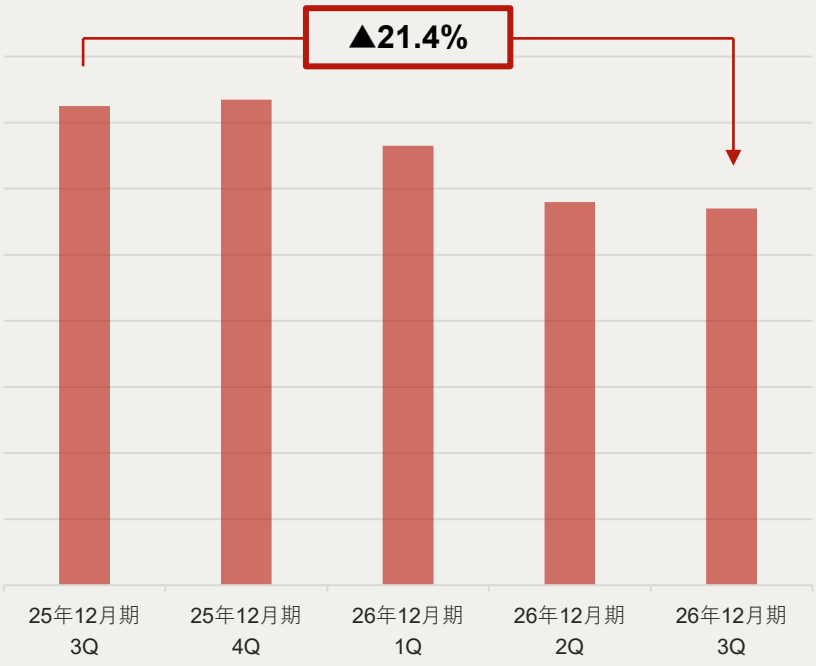
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Agency business

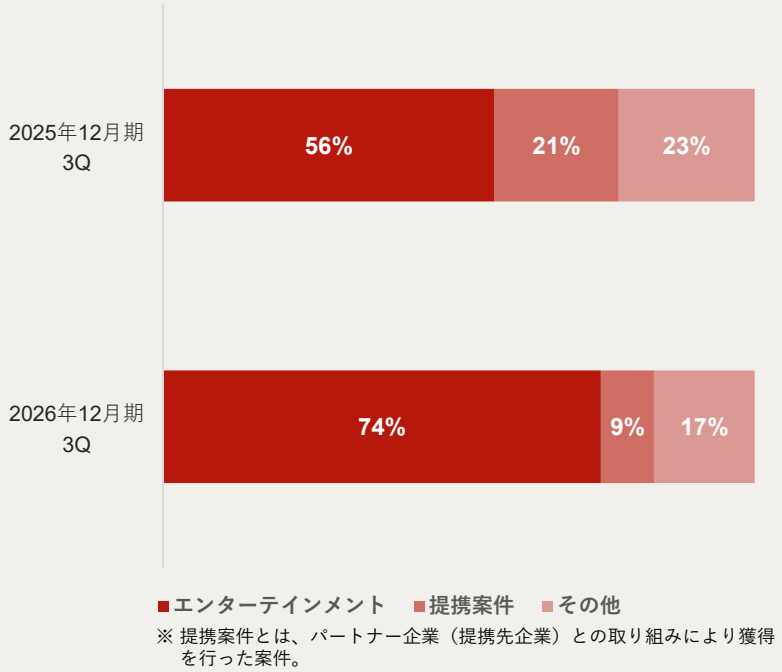
エージェンシー事業(国内)

事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

取引社数推移



カテゴリー別取扱高比率



※ 提携案件とは、パートナー企業（提携先企業）との取り組みにより獲得を行った案件。

事業効率および収益性の向上を目的に取引構造の見直しを進めた結果、
「その他」カテゴリーに分類される取引社数が減少。
取扱高比率では、注力カテゴリーである「エンターテインメント」のカテゴリーが伸長。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

エージェンシー事業(国内)

TOPICS

ゲーム企業の海外展開において各国の文化に合わせてクリエイティブを最適化する「カルチャライズ」手法を用いたアウトバウンド支援を拡充

元となる広告



「言語翻訳版※1」広告

テキストのみを現地語に翻訳



「カルチャライズ版」広告

現地の文化に最適化したクリエイティブに



*広告画像はイメージです。実際の配信クリエイティブとは異なります。

**北米市場向けのMMORPG（大規模多人数同時参加型オンラインRPG）のプロモーションにおいて、比較検証を実施した結果、カルチャライズ版では広告のクリック率が、言語翻訳版と比較し、3.4%から4.1%へ向上。
また、最終的なユーザー獲得数は言語翻訳版の5倍以上を記録※2など、高い広告効果を上げています。**

※1 「言語翻訳版」とは、クリエイティブ内のテキストのみを現地の言語に翻訳した広告物を指します。
※2 2026年に実施した、北米地域（iOS/Android）における同一タイトルのプロモーション配信実績に基づく比較。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Agency business

エージェンシー事業(海外)

TOPICS

中国最大級のECプラットフォームである京東集団（JD.com）の
B2B2C（Business to Business to Consumer）パートナーに認定

京东 JD.COM × ADWAYS

本認定により、アドウェイズグループと連携する日本企業は国内に在庫を置いたまま、京東集団（JD.com）を通じて商品を直接販売することができるため、低リスクかつスピーディーに中国市場へ参入することが可能に。

中国市場の発展にともない、単なる「補助的な販売チャネル」から「ブランドの成長を左右するコアチャネル」へと進化しつつある越境ECにおいて、アドウェイズグループは今後も、京東集団（JD.com）をはじめとする主要プラットフォームとの連携を一層強化し、日本企業の中国進出を「戦略立案」から「継続的な売上拡大」まで一気通貫で支援してまいります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

UNICORN事業方針

チャネル×提供価値×アカウントの3軸で立体的に拡大

ディスプレイ広告	ビデオ広告	検索連動型広告	その他



UNICORNでは、 Apple Ads｜Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTV※1やOTT※2等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、試験運用を経てYouTubeへの対応が完了し、広告配信メニューの提供を開始し、販売拡大中。あらゆるチャネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

※1 コネクテッドTV：インターネットに接続されたテレビセットに対し広告を配信できるデジタル広告の一種。
※2 Over The Top（OTT）：インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

前年同四半期比較

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	2,137	1,716	+420	+24.5%
売上総利益	928	641	+286	+44.7%
営業利益	366	125	+240	+191.3%

取扱高、売上総利益、営業利益それぞれ前年同四半期比で大幅に伸長。
第3四半期としては、過去最高の営業利益となる。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。
※ 売上総利益推移は、AI運用型アドトラック「O3 TRUCK」に関する数値の反映方法を変更したため、2025年12月期以前の資料と金額が一部異なります。

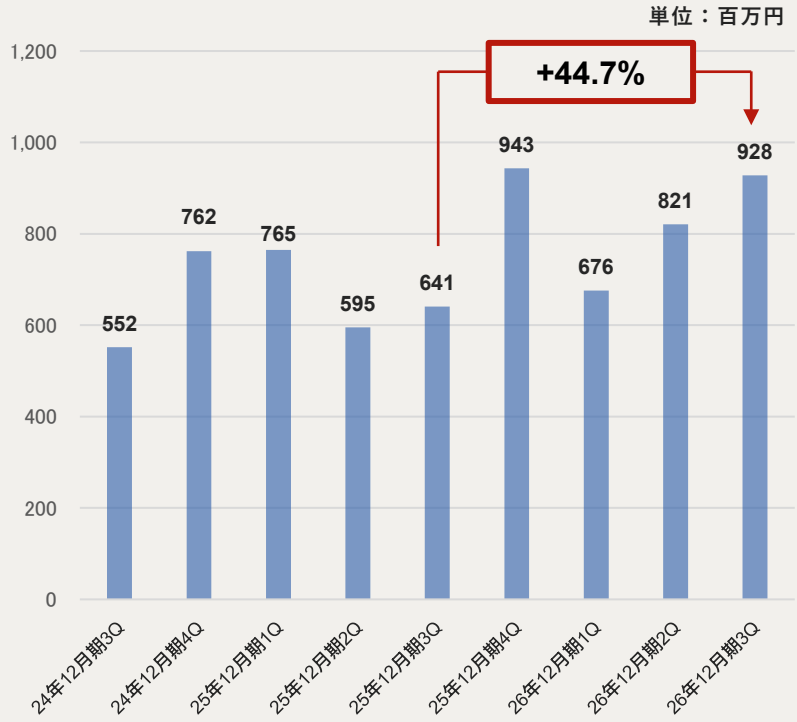
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

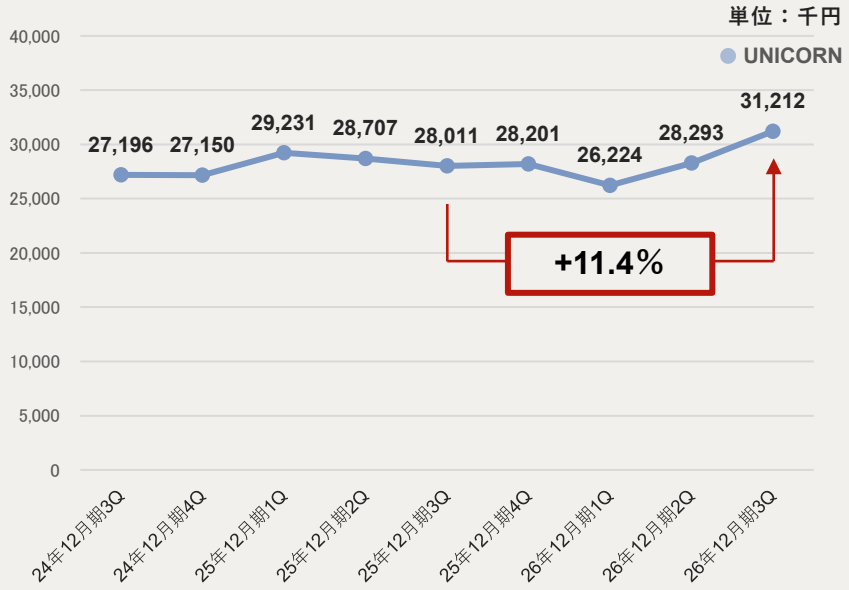
事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

売上総利益推移



一人あたりの年間売上総利益推移

一人あたりの年間売上総利益
＝ 当該四半期から過去1年間の売上総利益額 ÷ 当該四半期から過去1年間の平均従業員数



売上総利益、一人あたりの年間売上総利益ともに、
前年同四半期比、前四半期比で大幅に増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。
※ 売上総利益推移は、AI運用型アドトラック「O3 TRUCK」に関する数値の反映方法を変更したため、2025年12月期以前の資料と金額が一部異なります。

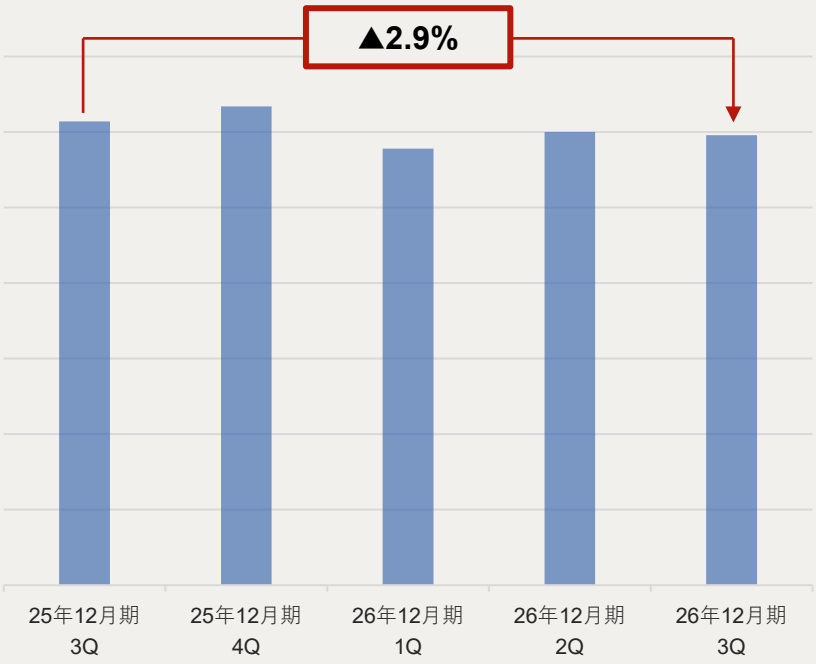
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

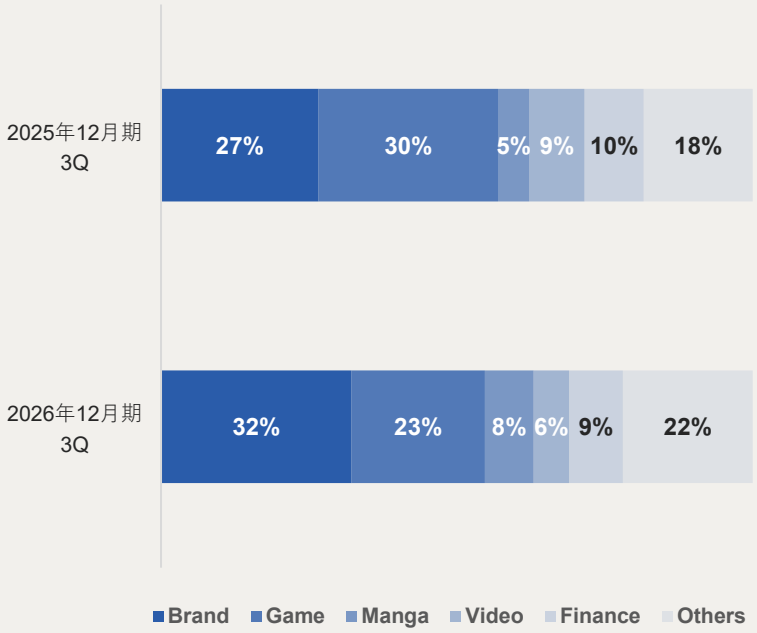
アドプラットフォーム事業 - UNICORN

事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

プロダクト数※推移



カテゴリー別取扱高比率



プロダクト数は「Game（ゲーム）」が減少するも、注力カテゴリーである「Brand（ブランド）」が増加。
取扱高のカテゴリー別でも「Brand（ブランド）」の比率が増加。

※ プロダクト数とは、広告を行う対象となる、クライアントの商品やサービスの数です。

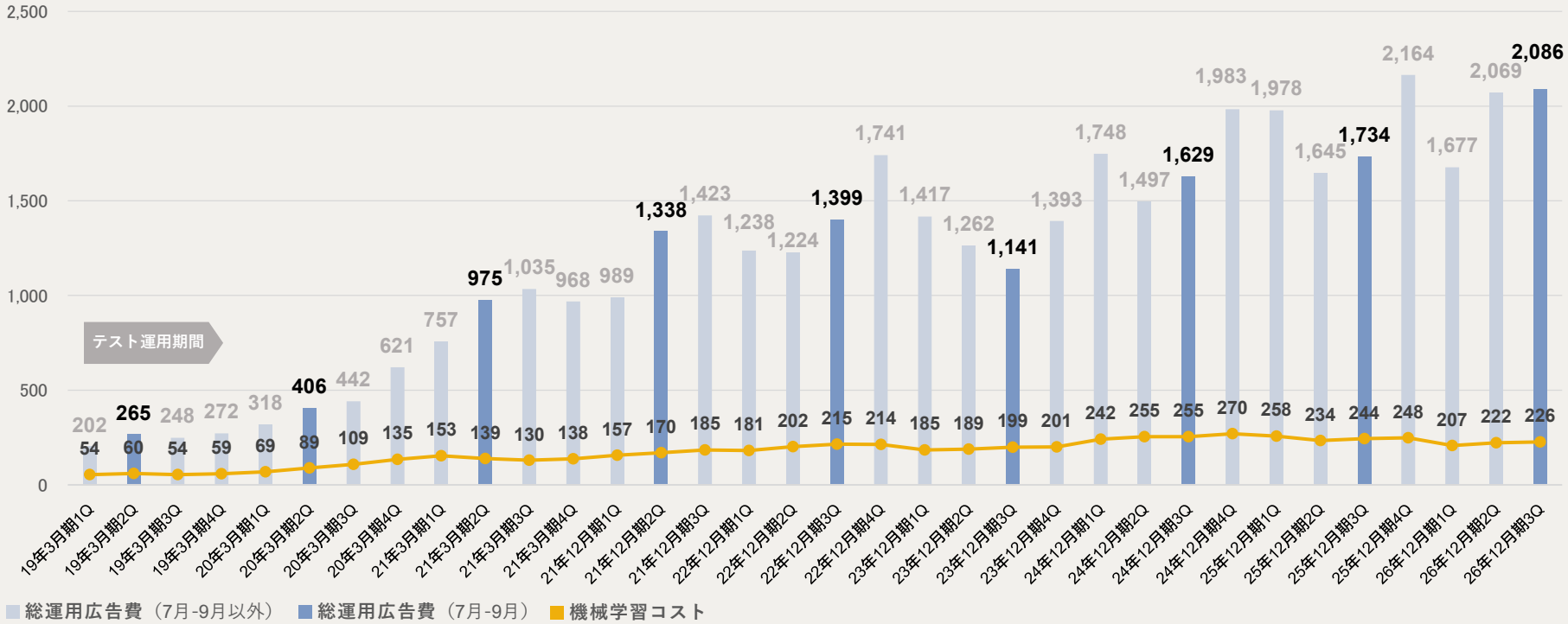
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

UNICORNの総運用広告費*／機械学習コスト推移

単位：百万円



*「総運用広告費」とは、取扱高とは異なりUNICORNのシステムで実際に広告配信を行った金額の総額です。取引先からの要望によりUNICORNのマージン分のみが取扱高になる場合や、取引先との取り決めにより一定の条件を満たした場合に取扱高を減額する場合などがあるため、より正確にサービスとしてのUNICORNの増減を示すため、2024年12月期から「総運用広告費」のグラフを加えております。

総運用広告費も当第3四半期は、第3四半期（7月- 9月）で最高値となり、機械学習コストの抑制にも成功。

※ 決算期を変更したため、2021年12月期までは2Qが7月-9月に該当します。
※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

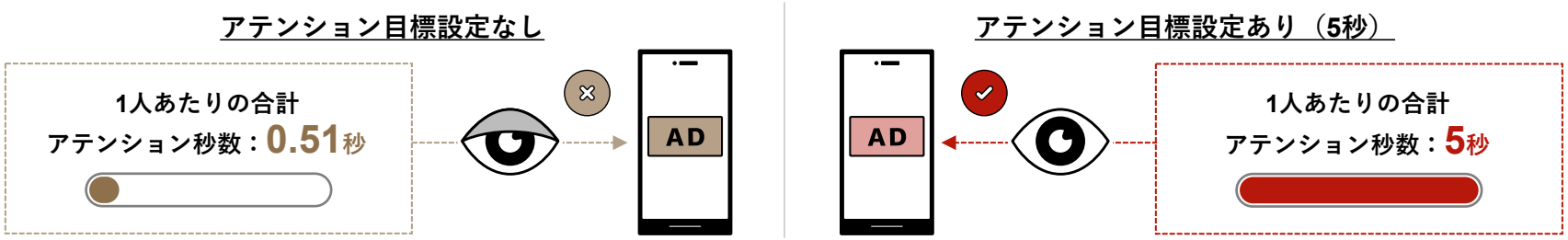
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

TOPICS

Lumenのデータを活用し、ユーザーの累積アテンション※秒数を予測し広告配信をコントロールする新機能「Target Attentive Seconds / Reach 機能」を提供開始

「Target Attentive Seconds / Reach 機能」の比較



広告主は「ユーザー1人あたりに広告を合計何秒見せるか」という累計アテンション秒数や、
到達リーチの目標設定に基づいた広告配信が可能に。

「ユーザーに広告の内容が十分に認識されるまでアプローチを継続する」ことが可能となり、単なる表示枠の消費にとどまらない、ブランド好意度や購買意欲の向上といった本質的な広告効果の最大化を目指します。

※「ユーザーに見られた時間（秒数）」や「注目が集まった割合（アテンション率）」など、ユーザーが広告や情報にどれだけ意識を向けたかを示す指標。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

TOPICS

FAST株式会社が運営する無料広告型ストリーミングテレビ「Fast TV※」と連携し「コンテキストターゲティング配信」の適用を開始



番組　CM（インストリーム動画広告）　番組

視聴中の番組にマッチした動画広告を、インストリームで配信

視聴中の番組の文脈にマッチした動画広告をインストリーム形式（番組と番組の間に流れるCM）で配信することで、視聴者は広告をコンテンツとして受け取りやすくなり、広告主は、より自然な形で視聴者に広告を届けることが可能となります。

※ 2026年10月1日(木)より「FAST ch（ファストチャンネル）」は「Fast TV（ファスト・ティービー）」へと名称変更しました。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

TOPICS

自律型「AI Agent」群が取引と運用を担う新プラットフォームへ
- 市場課題に対し、UNICORNが開発する3つのAI Agent -

現在の広告運用における3つのボトルネックに着目し、それぞれを解決するAI Agentの開発・実装を推進



プランニングの課題
分断された基準による設計の限界

Planning Agent

（実運用フェーズへ移行）



選定と交渉の課題
膨大な選択肢からの絞り込みと
条件交渉の負荷

Buyer / Seller Agent Network

（実運用フェーズへ移行）



運用の課題
「標準化」と「個別対応」両立の壁

Trading Agent

（開発中）

UNICORNは、本構想を通じて単なる既存業務のAI代替にとどまらず、マーケターが描く「誰に・どう届けるかという戦略」と「実際の広告買い付け」を自動で連動させるプラットフォームの構築を推進いたします。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

アドプラットフォーム事業 - UNICORN

TOPICS

MetricWorks Japan、UNICORNの完全子会社化にともない「POLARIS株式会社」へと社名変更



このたび、社名を「POLARIS株式会社」へ変更するとともに、
UNICORN株式会社が、米国MetricWorks Inc.の保有するMetricWorks Japanの株式をすべて取得いたしました。
これにともない、両社の合弁関係ならびに米国MetricWorks Inc.との資本関係は終了し、新たな体制での運営を開始いたします。

日本国内でMMM※を活用したモバイル向け広告評価分析サービスを提供するPOLARISでは、今後も国内の広告主のニーズを的確に捉えながら、運用体制の強化と機能拡張を進めるとともに、広告評価における高度な分析サービスの開発を通じて、企業のマーケティング活動を支援してまいります。

※ MMM（マーケティング・ミックス・モデリング）：統計的な分析手段を用いて、売上などのKGIに対する各マーケティング施策（広告、販促、外部要因など）の寄与度を算出する手法。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

ADWAYS DEEE

D E E E

Delight
喜び

Exciting
わくわく

Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

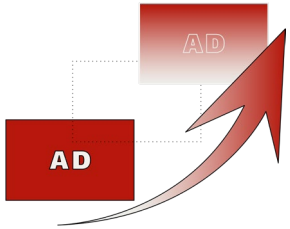
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

ADWAYS DEEE事業方針

広告が担うべき役割や価値を再定義し、
これまでの概念を覆す新たな価値を創造する

アフィリエイト広告

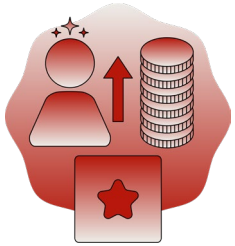
JANet JAPAN Affiliate Network



データを活用した次世代の
アフィリエイト広告

リワード広告

AppDriver



独自のリワード広告施策・
プロダクトで市場を牽引

インフルエンサーマーケティング



アフィリエイトの特性を活かし、
動画×ECで新たな価値創出を強化

ADWAYS DEEEは、新しい広告表現や広告効果の最大化などテクノロジーを駆使することで、ステークホルダーの持続成長をサポートするプロダクトとして、国内最大級のアフィリエイトネットワーク「JANet」をはじめ、国内最大級のリワード広告プラットフォーム「AppDriver」、アフィリエイトの特徴を活かした「インフルエンサーマーケティング」を提供しています。広告事業で長年培ってきた知識や技術を常に変化させることで、広告主およびメディアの期待に応える高付加価値なサービスを提供してまいります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

アドプラットフォーム事業 - ADWAYS DEEE

前年同四半期比較

単位：百万円

	2026年12月期 第3四半期	前年同四半期比 2025年12月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	3,265	3,687	▲422	▲11.5%
売上総利益	356	391	▲35	▲9.1%
営業利益	4	32	▲27	▲85.3%

アフィリエイト広告における金融クライアントの広告予算の方針変更に伴い、
前年同四半期比で取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ減少。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

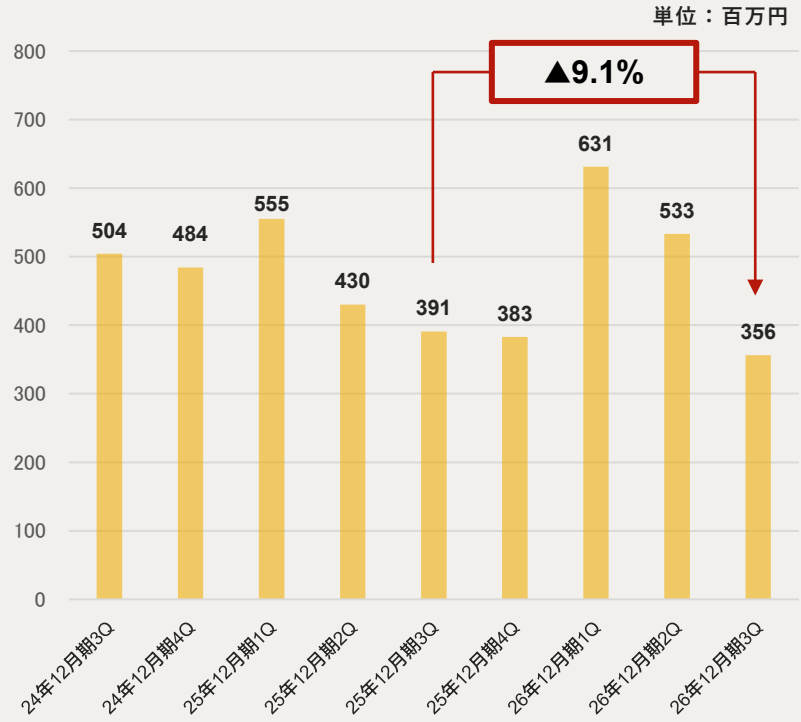
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

アドプラットフォーム事業 - ADWAYS DEEE

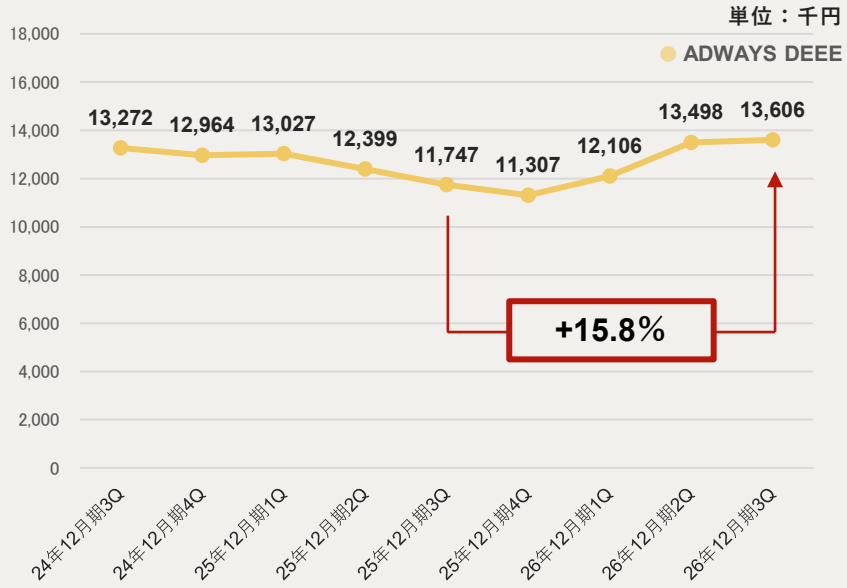
事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

売上総利益推移



一人あたりの年間売上総利益推移

一人あたりの年間売上総利益
＝ 当該四半期から過去1年間の売上総利益額 ÷ 当該四半期から過去1年間の平均従業員数



前年同四半期比で売上総利益は減少。
人員の減少により一人あたりの年間売上総利益は増加。

※ 事業概況のページでは、個別の事業を切り出して説明を行うため、内部取引を相殺する前の数値（総額）で記載しております。

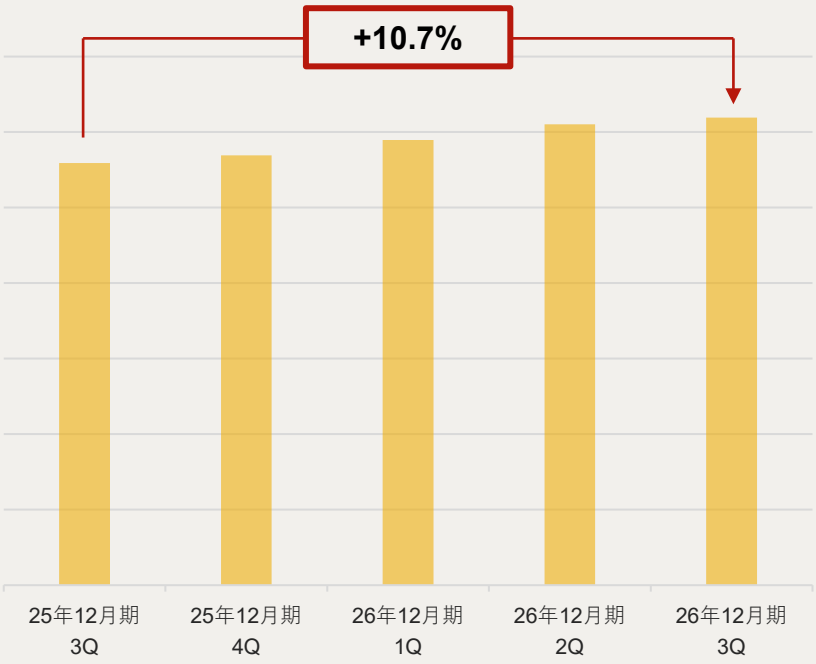
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

Ad platform business

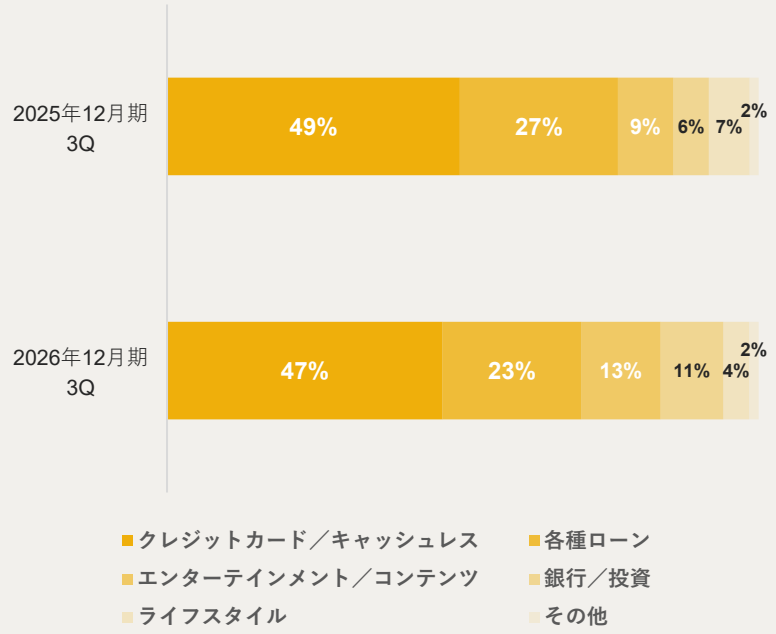
アドプラットフォーム事業 - ADWAYS DEEE

事業成長のためのKPI（重要業績評価指標）の推移

案件数推移



カテゴリー別取扱高比率



当四半期の案件数は「ライフスタイル」のカテゴリーの増加により、前年同四半期から増加。
カテゴリー比率では、「エンターテインメント/コンテンツ」のカテゴリーが伸長。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

パートナー企業との取り組み

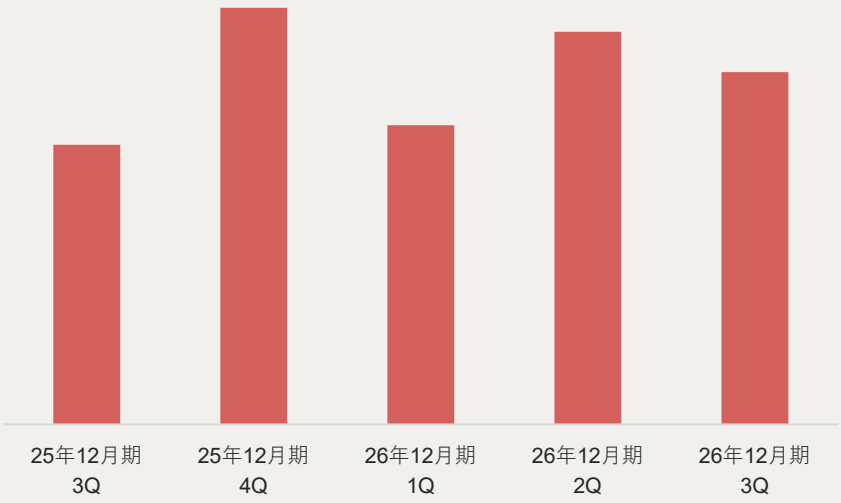
多様な協業を通じたイノベーション創出と持続的な価値創造

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

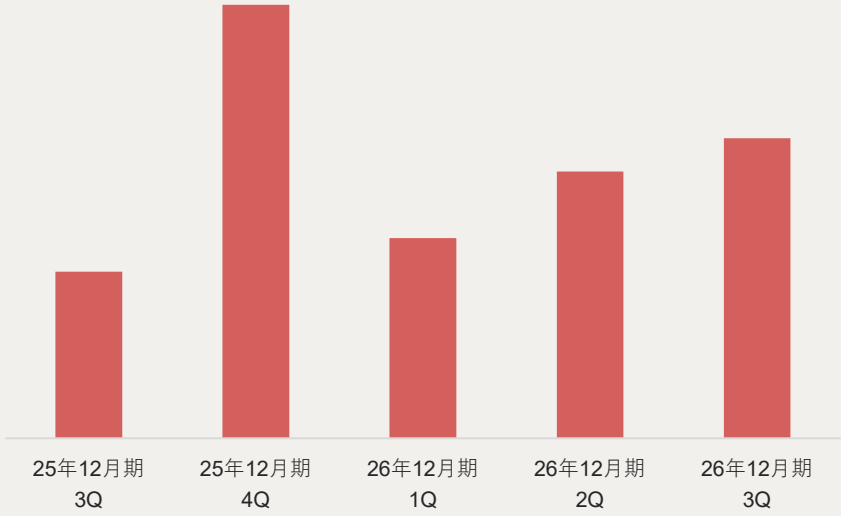
Initiatives with Partner Companies

博報堂ＤＹグループ資本業務提携の進捗

博報堂ＤＹグループ協業 取扱高推移



博報堂ＤＹグループ協業 取引社数推移



取扱高、取引社数ともに前年同四半期比で増加。
引き続き、博報堂ＤＹグループとの戦略的な連携体制をより一層強化。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

その他事業

新たなソリューション、事業の多角化を推進

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

新たな体験・価値の提供

ななしいんく

ななしいんく×JOYSOUND、コラボキャンペーンを開催



カラオケコラボルームがJOYSOUND池袋西口公園前店にオープンしたほか、全国63店舗にて、オリジナルノベルティ付きコラボドリンクやJOYSOUNDの対象機種にて歌唱キャンペーンが実施され、好評ののち2026年9月30日に終了いたしました。

Vtuberプロダクション「ななしいんく」では、今後もさまざまな企業とのコラボレーションを通じ、所属タレントそれぞれの個性を輝かせる企画やキャンペーンで、ファンの皆様に新しい価値と感動を届けてまいります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

新たな体験・価値の提供

ななしいんく

ななしいんくライブ『Starlight Tribute』を 2026年10/17(土)、10/18(日)に2Days／全3公演開催



ファンへの日頃の感謝を届ける「感謝祭」をテーマに、所属タレント全29名以上が出演する
大型公演『Starlight Tribute』をオンラインにて開催いたしました。

Vtuberプロダクション「ななしいんく」に所属する人気タレントひとりひとりの輝きを堪能できるソロパートでのパフォーマンスのほか、複数タレントによるコラボパートや全員参加楽曲も用意し、みどころが満載のライブとなりました。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

PURPOSE OF ADWAYS

全世界に
「なにこれ すげー こんなのはじめて」
を届け、
すべての人の可能性をひろげる
「人儲け」を実現する。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2026年11月2日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

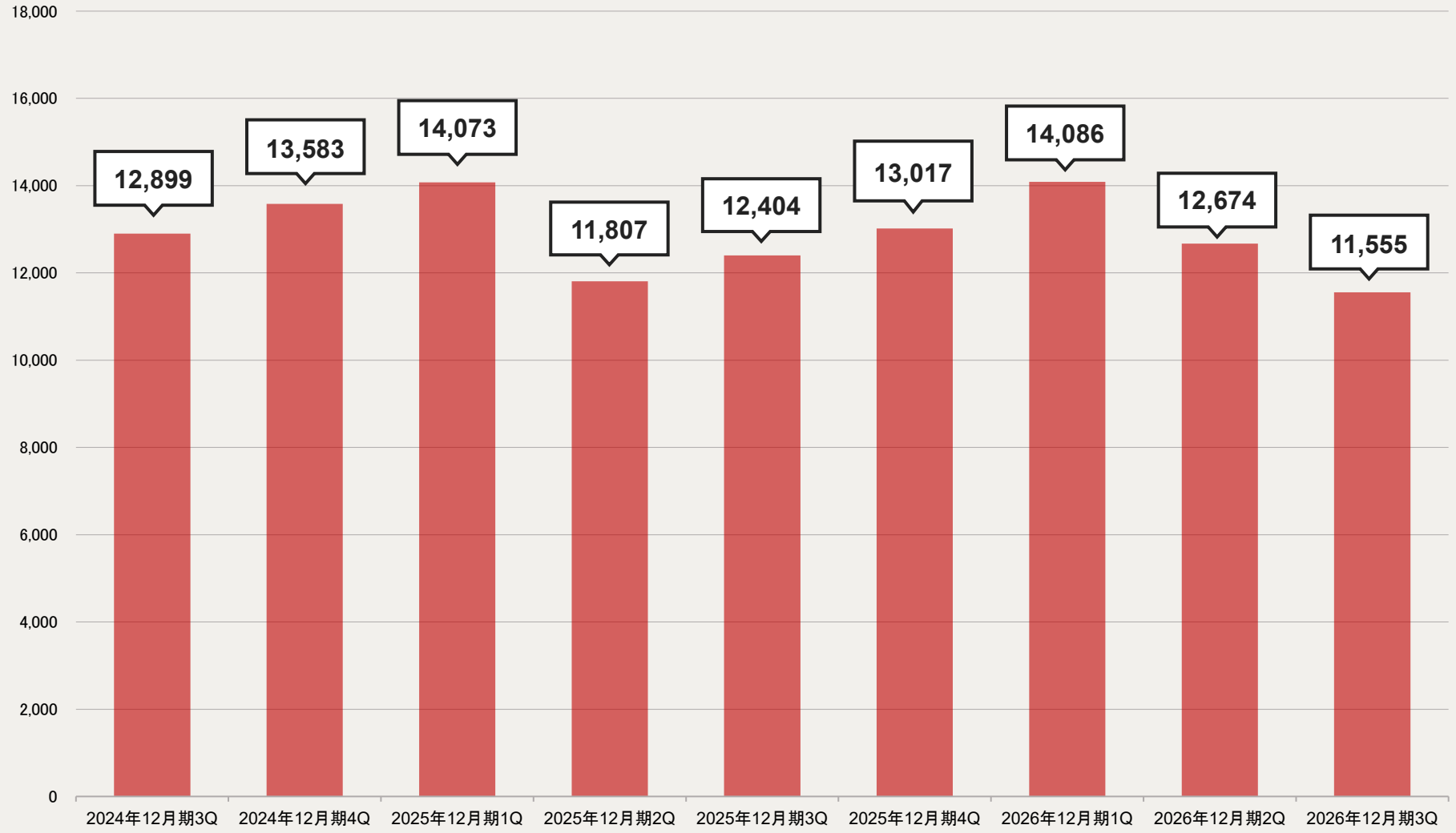
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

補足資料

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結取扱高 四半期推移

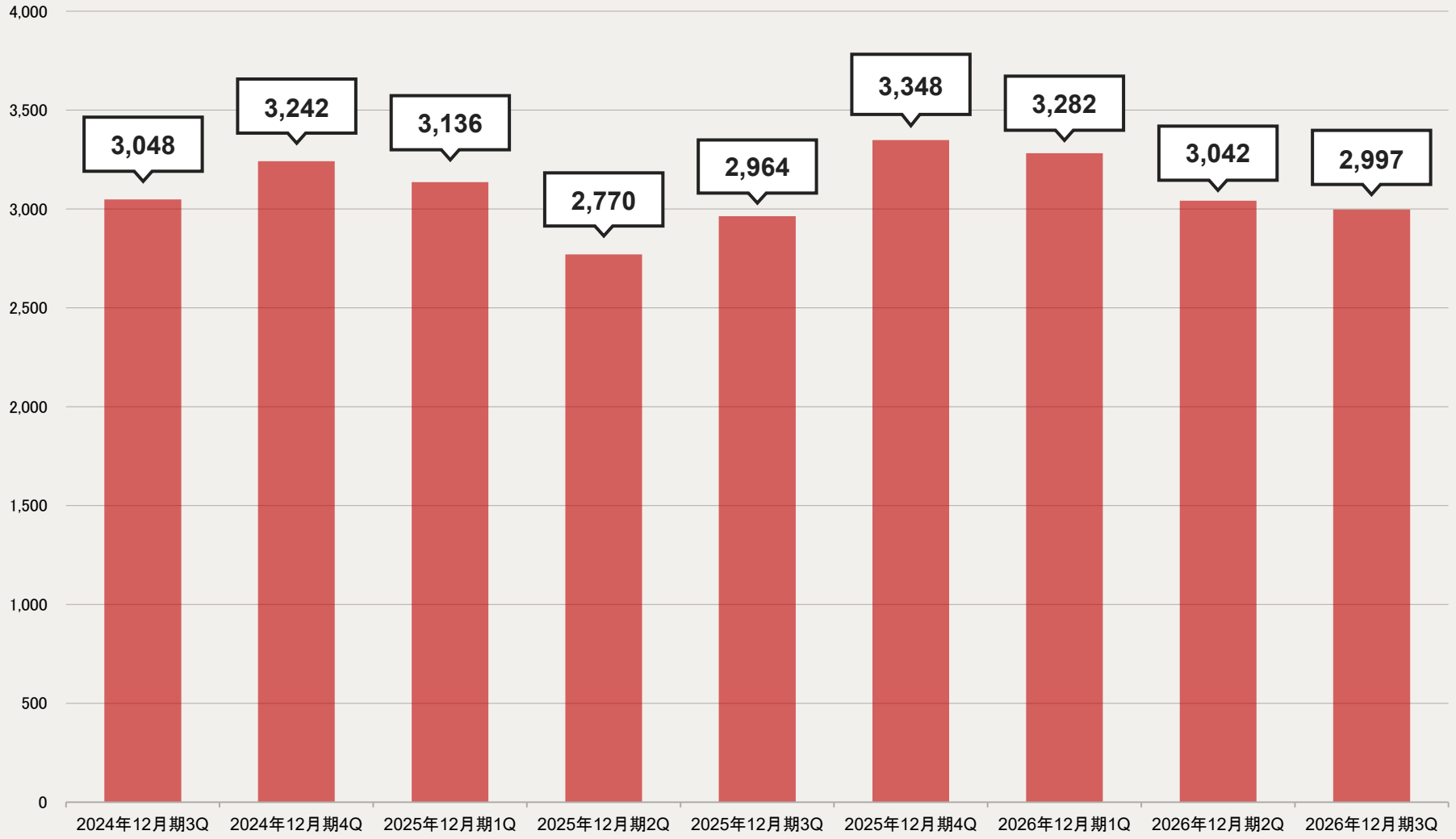
単位：百万円



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結売上高 四半期推移

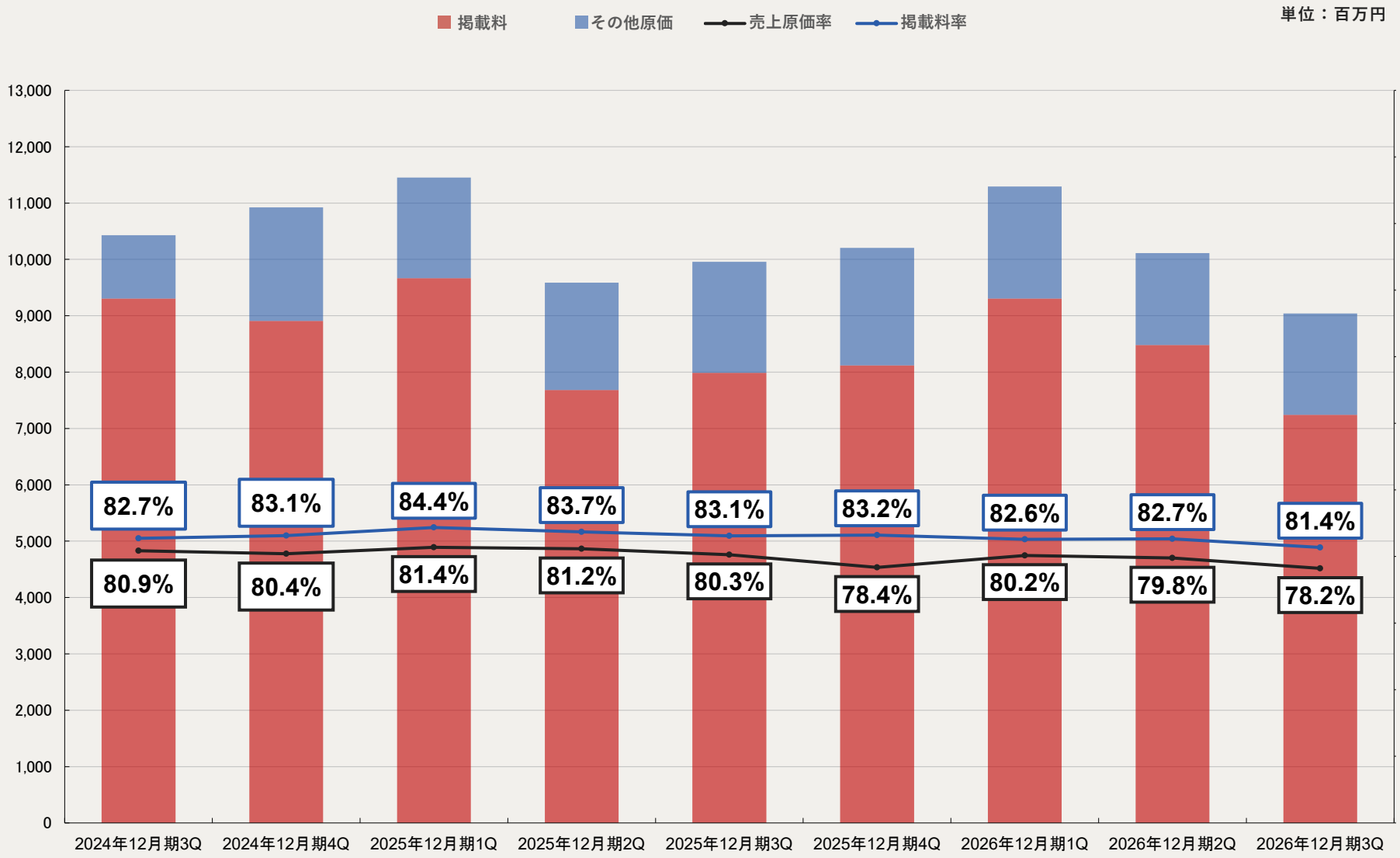
単位：百万円



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結売上原価 四半期推移

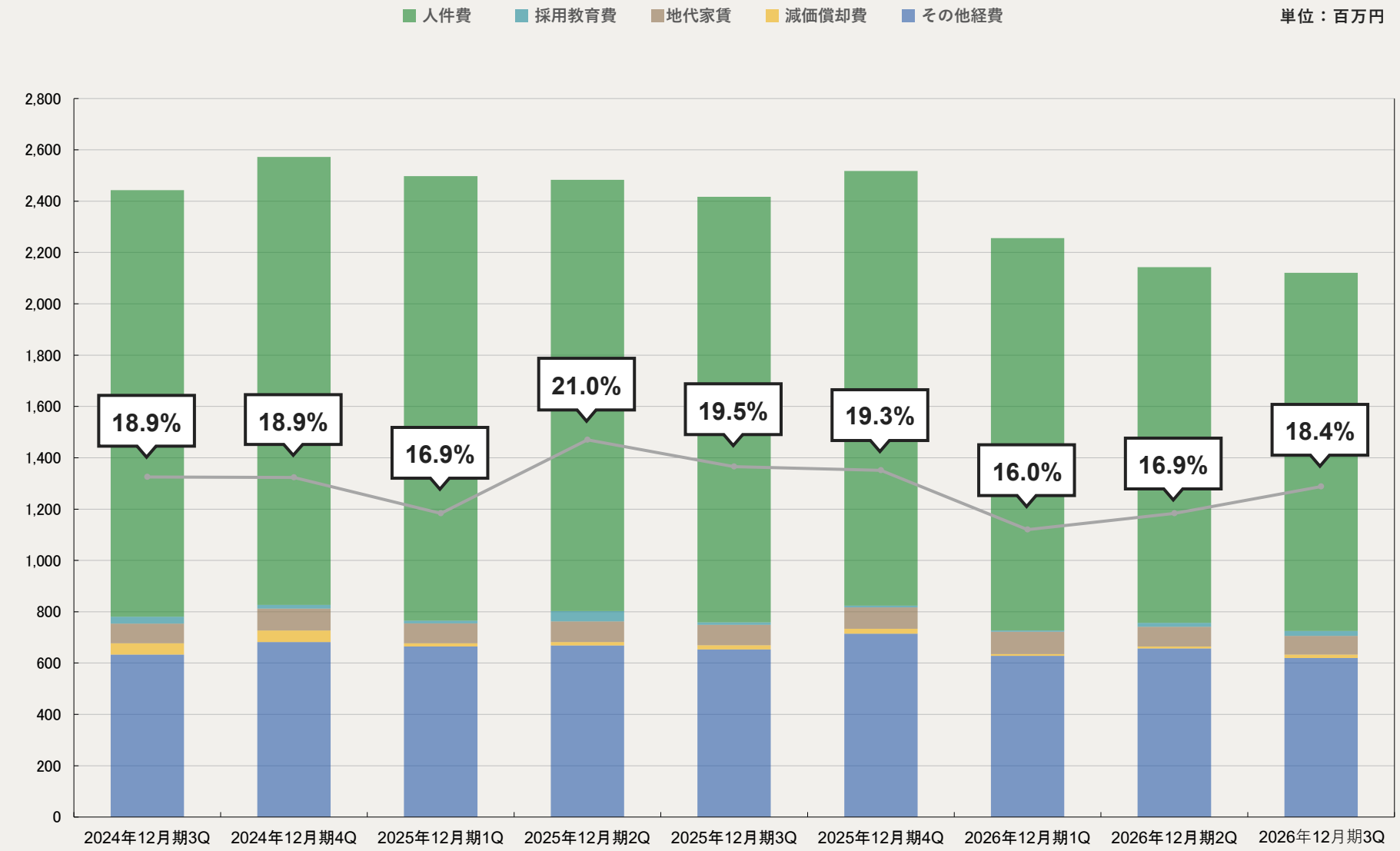
単位：百万円



※ 掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

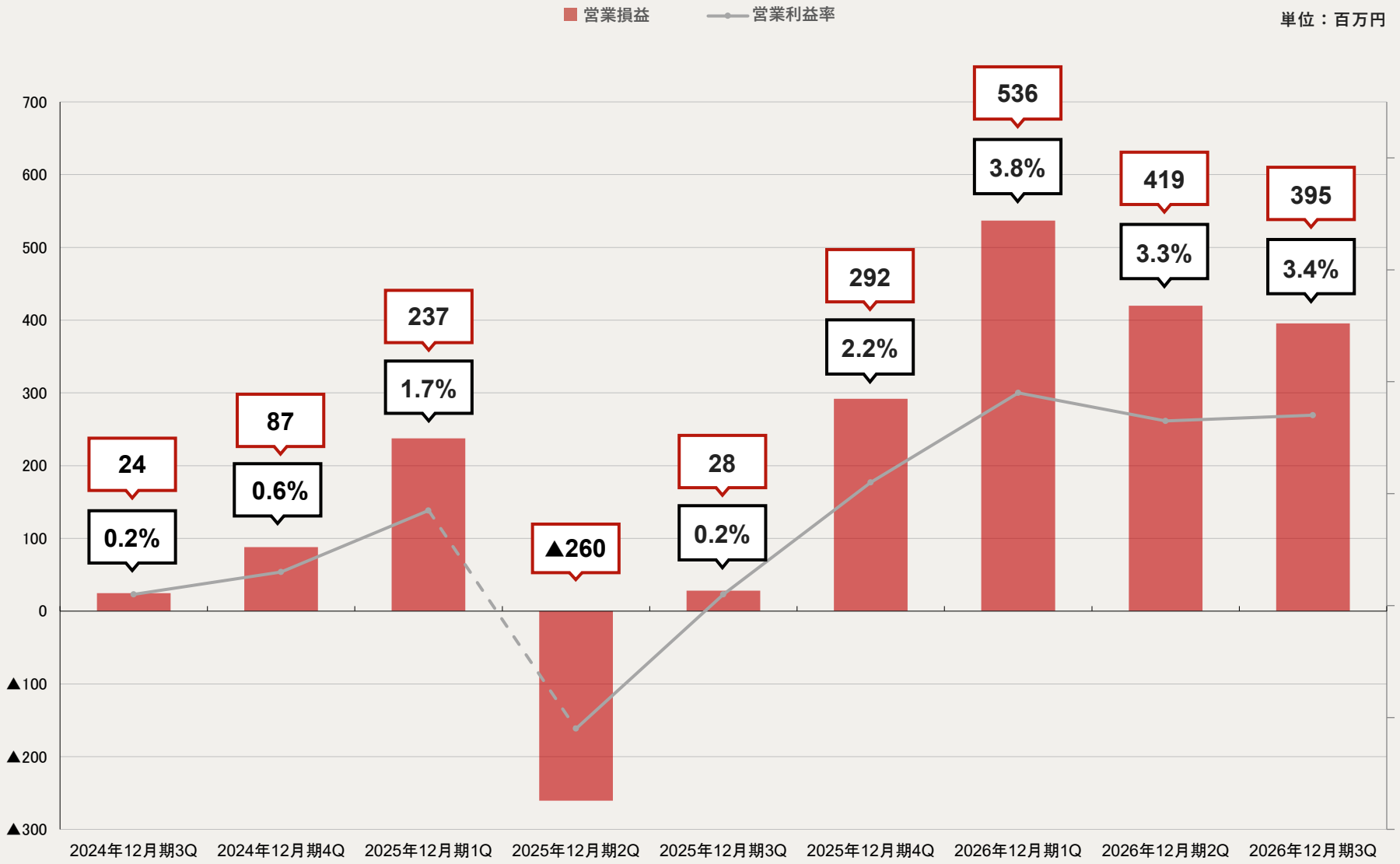
Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結販管費 四半期推移



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結営業損益 四半期推移



※ 2025年12月期2Qは営業損益がマイナスのため、営業利益率は記載しておりません。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結貸借対照表(前四半期比)

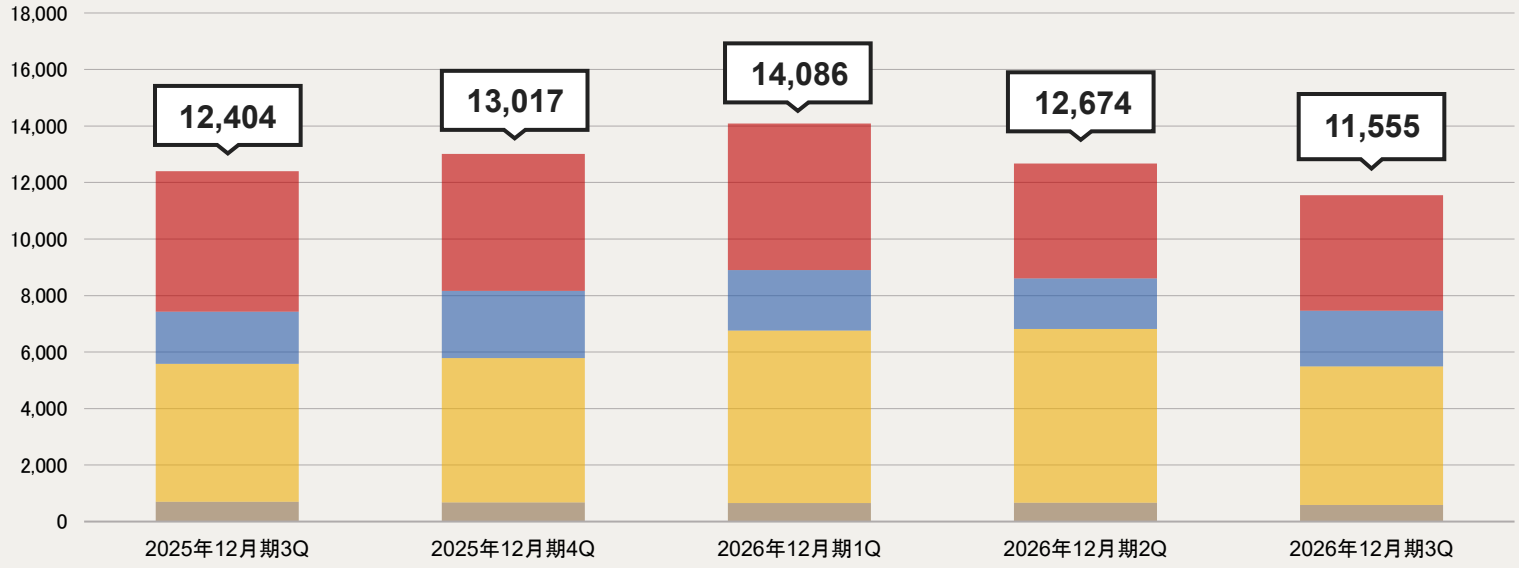
単位：百万円

	2026年12月期3Q	2026年12月期2Q	増減額	増減率
流動資産	17,990	17,577	+412	+2.3%
(現預金)	9,944	9,980	▲36	▲0.4%
固定資産	4,336	4,830	▲493	▲10.2%
資産合計	22,327	22,408	▲81	▲0.4%
流動負債	7,841	7,515	+326	+4.3%
固定負債	238	243	▲4	▲2.0%
負債合計	8,080	7,758	+321	+4.1%
純資産合計	14,247	14,649	▲402	▲2.7%

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移

単位：百万円

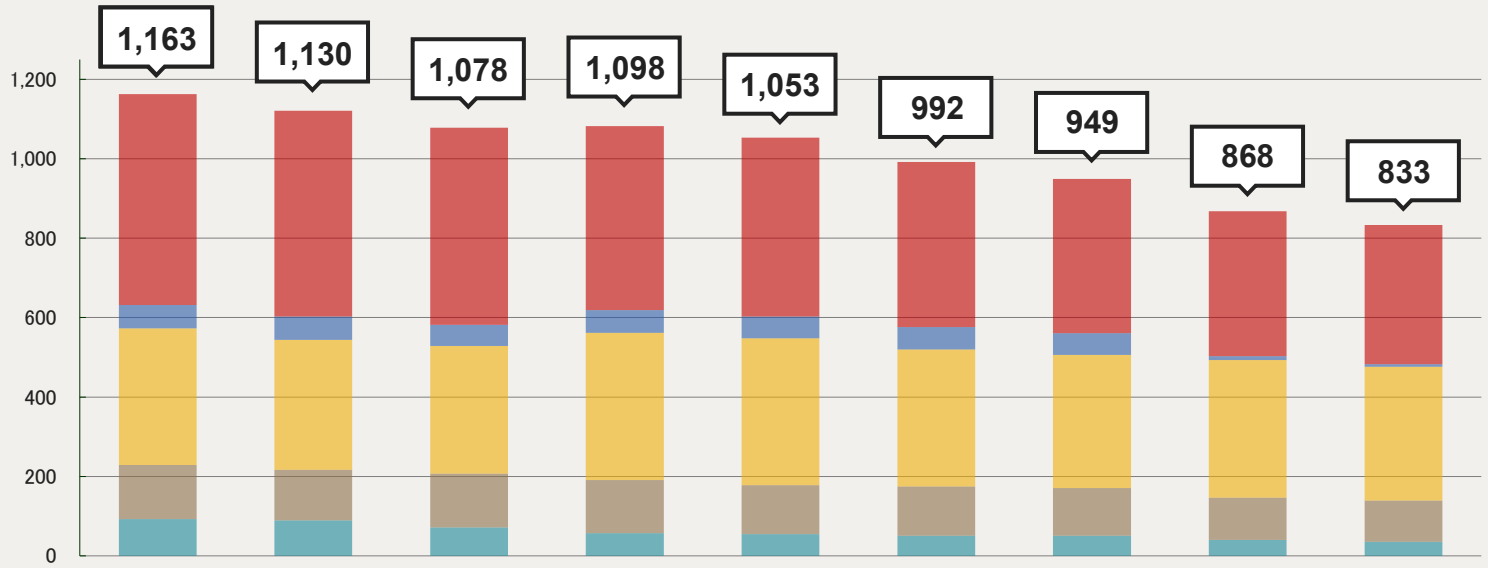


	2025年12月期3Q	2025年12月期4Q	2026年12月期1Q	2026年12月期2Q	2026年12月期3Q	前四半期比 増減額	前四半期比 増減率
エージェンシー(国内)	4,969	4,854	5,178	4,071	4,090	+18	+0.5%
エージェンシー(海外)	1,852	2,376	2,151	1,790	1,968	+178	+10.0%
アドプラットフォーム	4,880	5,110	6,101	6,143	4,907	▲1,235	▲20.1%
その他	702	675	654	669	588	▲80	▲12.0%
合計	12,404	13,017	14,086	12,674	11,555	▲1,118	▲8.8%

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

当社グループの従業員数 四半期推移

単位：名



	2024年12月期3Q	2024年12月期4Q	2025年12月期1Q	2025年12月期2Q	2025年12月期3Q	2025年12月期4Q	2026年12月期1Q	2026年12月期2Q	2026年12月期3Q
日本アドウェイズ	531	518	496	463	450	416	388	365	350
中国グループ	59	59	53	57	55	56	55	10	7
国内子会社	344	332	322	371	370	345	335	346	337
海外子会社（中国以外）	136	132	135	134	123	124	120	107	104
派遣／アルバイト等	93	89	72	57	55	51	51	40	35
合計	1,163	1,130	1,078	1,098	1,053	992	949	868	833

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	山田 翔	
資本金	1,717百万円	［2026年9月末日現在］
取扱高	51,302百万円	［2025年12月期連結］
従業員数 ※臨時雇用者含む	833名（グループ全体）	［2026年9月末日現在］

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.